

三重県の文化財保護

— 平成18年度 —



2007.8

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局生涯学習分野文化財保護室が、平成18年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡及び埋蔵文化財の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館及び三重県埋蔵文化財センターが、別途年報として報告しているのので、参照されたい。
- 3 市町指定文化財の指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I 文化財の指定・登録

1 国指定文化財の指定	1
2 国登録有形文化財の登録	7
3 三重県文化財保護審議会	9
4 三重県指定文化財の指定等	10
5 市町指定文化財の指定	21

II 県実施の調査・保護事業

1 特別天然記念物カモシカ調査	
(1) 特別天然記念物カモシカ特別調査	22
(2) 特別天然記念物カモシカ通常調査	22
(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員 並びに保護行政担当者会議	23
2 ふるさと文化再興事業	23
3 埋蔵文化財緊急発掘調査等	
(1) 齋宮跡発掘調査	23
(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査	24
(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業	24
(4) 紹介・周知整備整理事業	24

III 文化財補助事業等

1 国庫補助事業	
(1) 建造物保存修理事業	25
(2) 建造物防災施設事業	25
(3) 重要伝統的建造物群保存事業	25
(4) 美術工芸品保存修理事業	26
(5) 美術工芸品調査事業	26
(6) 重要無形文化財保持団体補助事業	27
(7) 民俗文化財伝承・活用事業	27
(8) 民俗文化財調査事業	27
(9) 史跡等保存整備事業	27
(10) 史跡等買上げ事業	29
(11) 天然記念物食害対策事業	29
(12) 天然記念物再生事業	29
(13) 紹介・周知整備整理事業	29
(14) 市町遺跡発掘調査等	30
2 県費単独補助事業	
(1) 建造物保存修理事業	34
(2) 有形文化財保存修理事業	35
(3) 有形民俗文化財保存修理事業	35
(4) 史跡等保存整備事業	35
(5) 齋宮跡体験学習施設維持管理	35
(6) 天然記念物再生事業	35
3 県費(国間接)補助事業	
(1) 指定文化財管理事業	36

4 活かそう地域文化提案事業

(1) 事業概要	36
(2) 認証委員会	36
(3) 指定文化財等活用・保存事業	37
5 民間団体による助成	41

IV 世界遺産熊野古道保存管理

1 世界遺産熊野古道保存管理事業	
(1) 事業概要	42
(2) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 三県協議会	42
(3) 県内の保存管理体制の整備	42
(4) 保存事業	43
(5) 活用事業	43
2 熊野古道集客交流推進事業	
(1) 事業概要	46
(2) 熊野古道センター研究・ 保存機能整備活用委員会の開催	46
(3) 熊野参詣道石段・石畳学術調査	46

V 文化財の管理・普及

1 登録審査	
(1) 銃砲刀剣類登録審査会	47
(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会	47
(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会	48
2 文化財の管理	
(1) 文化財パトロール	48
(2) 文化財保護にかかる会議	52
(3) 発掘調査届・通知等	54
(4) 埋蔵文化財の発見(法第100条関係)	55
(5) 埋蔵物の文化財認定(法第102条関係)	56
(6) 出土文化財の譲与	62
3 国・県指定文化財の現状変更等	
(1) 国指定文化財現状変更等	64
(2) 県指定文化財現状変更等	69
4 文化財の公開・普及	
(1) 文化財関係の受賞	73
(2) 文化財講習会	73
(3) 近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会	74
(4) 文化財保護強調週間行事	74
(5) 文化財防火デー関連行事実施状況	74

[表紙 長太の大クス 活かそう地域文化提案事業]
[裏表紙 三重県内 国・県指定等文化財数]

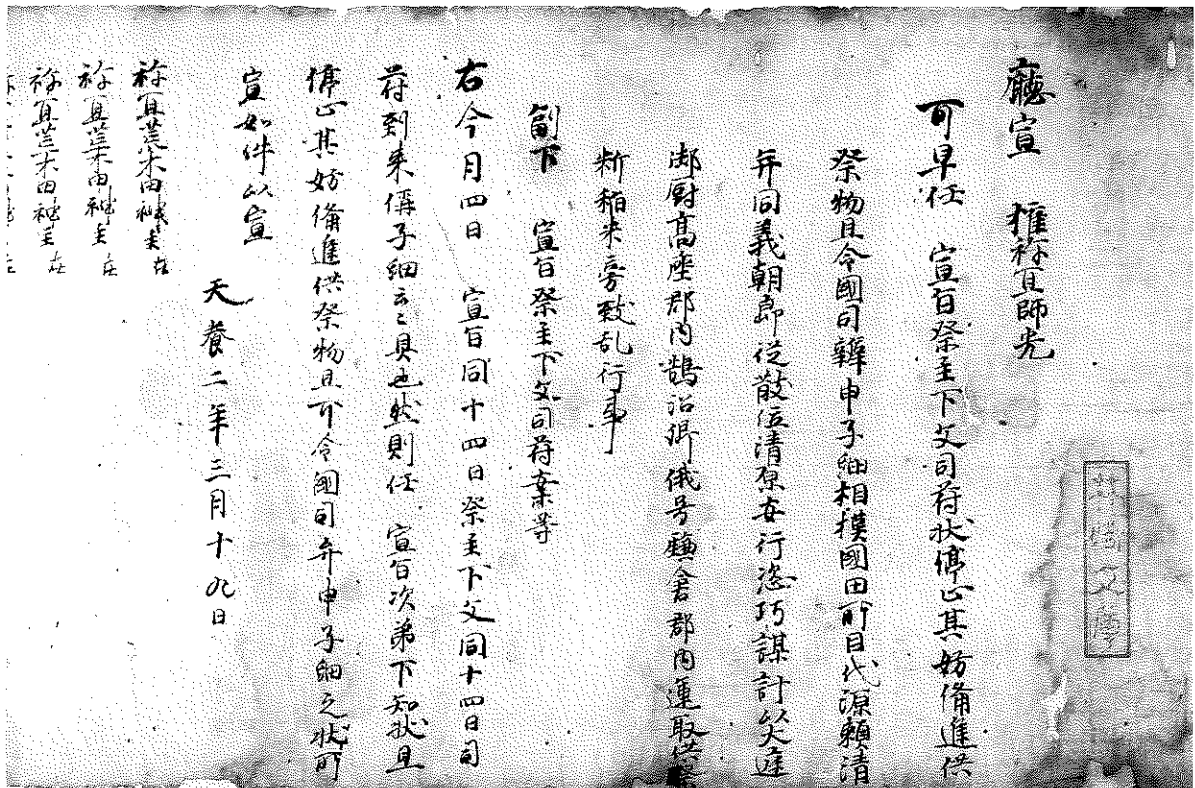
I 文化財の指定・登録

1 国指定文化財の指定

種別 重要文化財（古文書）
 名称 天養記
 員数 1巻
 所在地 伊勢市神田久志本町 神宮文庫
 年代 平安時代
 所有者 宗教法人 神宮
 指定番号 文 第664号
 告示年月日 平成18年6月9日（文部科学省告示第79号）
 特徴・評価 平安時代後期の天養元年（1144）9月及び10月に、源 義朝（1123～1160）が相模国（神奈川県）の有力武士らと結んで伊勢大神宮領であった大庭御厨（藤沢市茅ヶ崎）の押領を企てた為に、これに対して神宮側が訴えに及んだ事件に関するまとまった文書である。

天養2年の官宣旨案2通のほか、伊勢祭主下文案、大神宮司符案等の神宮関係文書や関連する文書が貼り継がれて1巻となっている。大きさは縦31.0 cm、全長800.4 cm。

12世紀中期における伊勢神宮領の成立の様相や関東武士団の成長と具体的な行動を知る上での貴重な史料である。



・種別	重要文化財（考古資料）
・名称	三重県宝塚一号墳出土品
	一. 埴輪船 一点
	一. 埴輪 百十九点 (以上造り出し出土)
	一. 埴輪 五十点 (以上墳丘出土)
	附 埴輪 九十点
	土器・土製品 十一 (以上包含層出土)

員数 170点(附101点)

所在地 松阪市外五曲町

年代 古墳時代

指定基準 考古資料の部（三）古墳の出土品その他古墳時代の遺物で学術的価値の特に高いもの

所有者 松阪市

指定番号 考 第572号

告示年月日 平成18年6月9日（文部科学省告示第79号）

特徴・評価 伊勢地域最大の前方後円墳（全長 111m）である国史跡 宝塚一号墳の墳丘および造り出しから良好な状況で出土した埴輪170点である。これらの遺物は、松阪市教育委員会が平成11年度から行った古墳整備事業にともなう発掘調査によって発見されたもので、古墳の造り出しおよびその周辺の埴輪配列の全体像が判明した希有な資料である。なかでも平成12年度に発見された大型の埴輪船は、大刀・威杖・蓋をかたどった立ち飾りをもつ他に例がない造形である。当該資料は古墳時代の良好な埴輪の一括資料であり、首長の葬送儀礼を考えるうえで重要な資料であるといえる。また、遺物包含層から出土した埴輪・土製品・土器101点が附（ついたり）として、加えられている。

なお、松阪市及び市教育委員会は、出土遺物や調査成果を展示・公開するため、平成15年に松阪市文化財センター「はにわ館」（博物館施設）をオープンさせる一方、平成17年3月には、現地の史跡公園整備を完成させ、同時に発掘調査報告書を刊行している。



・種 別 史跡
名 称 久留倍官衙遺跡
所 在 地 四日市市大矢知町字矢内谷・久留倍
面 積 21,450.51 m²
所 有 者 国土交通省
指 定 基 準 史跡（二）都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡
その他政治に関する遺跡

告示年月日 平成18年7月28日（文部科学省告示第111号）

特徴・評価 四日市市の北部、伊勢湾を望む丘陵の東先端部に位置する古代の官衙遺跡である。一般国道1号北勢バイパスの建設工事に先立ち、平成13年度から17年度まで四日市市教育委員会によって行われた発掘調査の結果、多数の掘立柱建物が検出された。検出した遺構は大きくⅠ期からⅢ期に分けられ、Ⅰ期は正殿、脇殿等を整然と配置する政庁、Ⅱ期は長大な東西棟建物群、Ⅲ期は倉庫群からなる正倉院と、時期により異なった性格を示す。また、政庁は全て東を正面とする点が特徴である。

久留倍官衙遺跡は官衙の政庁や正倉院等が時期ごとに場所を違えて展開するもので、古代伊勢国朝明郡衙跡である可能性が高いと考えられる。また、壬申の乱の際に大海人皇子（後の天武天皇）が朝明郡に立ち寄ったことが知られており、それとの関係も注目される。

久留倍官衙遺跡は官衙遺跡をその規模、配置等が明確な形で検出し、政庁、正倉院等が明瞭に把握できる点で貴重であり、古代国家の地方支配体制を具体的に示すものとしてきわめて重要である。

なお、久留倍官衙遺跡を保存するために、国道バイパス本線の構造変更と、側道の路線変更を行うことが決定している。

管理団体 四日市市（平成19年1月17日文化庁告示第3号）



・種 別 史跡（統合・追加指定・名称変更）

名 称 多気北畠氏城館跡
北畠氏館跡
霧山城跡

〔旧名称〕霧山城跡 北畠氏館跡庭園

所在地 津市美杉町上多気字馬場ほか

面積 268,906.91 m²（うち追加指定地 253,906.91 m²）

所有者 津市・北畠神社ほか

指定基準 史跡（二）都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡 および（八）旧宅、園地その他特に由緒のある地域の類

告示年月日 平成18年7月28日（文部科学省告示第116号）

特徴・評価 北畠氏は、南北朝時代から室町・戦国時代（14～16世紀）にかけて、伊勢国司として南伊勢を支配した位の高い公家であり、一方では、伊勢国屈指の武家としての側面も持っている。この城館跡は、大和・伊賀・伊勢の国境に接する山間部ではあるものの、大和と伊勢平野とを結ぶ交通路上に位置する「多気（たげ）」の地に位置している。昭和11年には、本城である霧山城跡が国史跡に、館に付随したと考えられる16世紀の北畠氏館跡庭園が国名勝及び史跡に指定されている。

館跡は、平成8年度から17年度まで美杉村（現津市）教育委員会により発掘調査が行われ、北畠神社境内とその東側に広がっていることが確認された。遺構は15世紀前半に造成された前期と、15世紀末から16世紀初頭に整地された後期の前後二時期に確認されており、前期には、全国的にみても古い時期の石垣や礎石建物・掘立柱建物跡、後期には、礎石建物・掘立柱建物跡がある。

このように、霧山城跡と館跡は伊勢国司として勢力をふるった北畠氏の拠点のあり方とその動向を示す貴重な遺跡であり、館跡全城、霧山城と館跡をつなぐ範囲について追加指定し、多気北畠氏城館跡と名称を変更するものである。

管理団体 津市（平成19年7月9日文化庁告示第18号）



種別 名勝
名称 二見浦
所在地 伊勢市二見町茶屋ほか
面積 1,026,389.34 m²
所有者 伊勢市ほか
指定基準 名勝(八) 海浜
告示年月日 平成18年7月28日(文部科学省告示第112号)

特徴・評価 伊勢湾に臨む二見浦は、美しい砂浜が続くことから、古代より和歌の歌枕として広く知られ、特に中近世以降には、大小2つの立岩を中心に海神を祀る霊場としても崇敬を集めていた。また、近世及び近代以降には、伊勢参宮に関連する霊場であるのみならず、立岩の隙間から拝む日の出の名所や海水浴の場としても注目され、日本を代表する行楽地へと発展した。

「夫婦岩」の名で有名な立岩が位置する立石崎から西の方角には、五十鈴川の河口に至るまで、延長約4 kmにわたって河川の沖積作用と潮流により形成された弧状の砂浜が連続し、立石崎を含めて二見浦と呼ばれている。二見浦に沿って、霊場である立石崎から参詣者及び行楽客のための門前旅館街が帯状に延び、その後方には主に常緑広葉樹から成る樹叢(じゅそう)に覆われた独立丘陵の音無山が控えている。また、二見浦は古くから製塩の場としても知られ、海浜に接して御塩殿神社(みしおでんじんじゃ)などがある。

このような二見浦を構成する自然的諸要素は多彩で独特の性質を示し、古代から和歌の歌枕や信仰の霊地としてのみならず、近世・近代以降は行楽地としても名高く、その観賞上の価値は高いといえる。



種 別 重要無形民俗文化財
名 称 桑名石取祭の祭車行事

所 在 地 桑名市

保 護 団 体 桑名石取祭保存会

公 開 期 日 毎年8月第1日曜日とその前日の土曜日

指 定 番 号 第422号

告 示 年 月 日 平成19年3月7日（文部科学省告示第34号）

特 徴 ・ 評 価 この行事は、各町内から出される祭車を鉦、太鼓で囃しながら曳き回す行事で、桑名市に鎮座する桑名宗社（通称春日神社）で行われている。

祭礼1日目は試楽と呼ばれ、深夜0時に鉦鼓を打ち始める「叩き出し」が行われる。夜が明けると石を入れた献石俵を春日神社拝殿前に奉納し、夕方には祭車の町練りが行われる。

2日目は本楽で、深夜2時から「二時の叩き出し」が行われる。午後から各町内の祭車は渡祭に備えて春日神社の楼門近くまで移動する。夕方、赤提灯を合図に渡祭順一番の祭車から順次渡祭を行い、決められた場所で曳き別れを行って町内に戻って行く。

我が国の山・鉦・屋台の行事が神霊を賑やかな行列で鎮め送ることを目的に成立したのに対し、この行事は石を神社に奉納する行事から展開したもので、祭りの発生や展開過程に特色があり、山・鉦・屋台の行事の変遷過程を知る上で重要な行事である。



2 国登録有形文化財の登録

- ・名称 皇學館大学記念館（旧神宮皇學館大学本館）
- 員数 1棟
- 所在地 伊勢市神田久志本町
- 構造・規模 木造平屋建・瓦葺・建築面積 647 m²
- 年代 大正8年（1919）
- 所有者 学校法人皇學館
- 登録基準 (二) 造形の規範となっているもの
- 登録日 平成18年8月3日
(平成18年8月24日付文部科学省告示第127号)
- 登録番号 24-0061

特徴・評価 皇學館大学記念館は、大正7年に官立専門学校であった神宮皇學館が当地に移転したことに伴い翌8年に本館として建築され、同校が神宮皇學館大学となった昭和15～21年には大学本館として利用されたものである。その後、昭和37年からは私立皇學館大学で記念館兼祭式教室等として使用されてきた。

木造平屋建、棧瓦葺の細長い建物であり、正面の東面は入母屋造で唐破風造銅板葺（当初檜皮葺）の玄関車寄が付設されている。背面は寄棟造で、背面から側面後部にかけて庇をめぐらした板床張テラスが付く。小屋組は木造トラス組であり、外壁は腰部を下見板張とし、その上部には漆喰塗壁に柱型・単窓の上げ下げ窓が配置され、調和のとれた外観となっている。内部は祭式教室等の用途のため改造されているが、旧貴賓室・館長室の内装は当初の形式がよく残っている。

皇學館大学記念館は、堅実な意匠、堅牢な構造の建築であり、大正期の和風建築の好例として貴重である。



・名称 旧明村役場庁舎
員数 1棟
所在地 津市芸濃町林字向城
構造・規模 木造2階建・瓦葺・建築面積216㎡
年代 大正5年(1916)
所有者 津市
登録基準 (二)造形の規範となっているもの
登録日 平成18年11月29日(平成18年12月19日付文部科学省告示第147号)
登録番号 24-0062

特徴・評価 木造総2階建、棧瓦葺、東西棟の寄棟造で附属棟が付く。下見板張や上げ下げ窓を用いた洋風庁舎で、階下は事務室、階上は議場となっている。建物南西隅にバルコニーを張り出して正面玄関とし、その上部の大屋根には妻を設ける等、建物隅部で正面性を強調する手法は特徴的である。



3 三重県文化財保護審議会

・三重県文化財保護審議会委員

氏名	担当分野	現職
鈴木 嘉吉	建造物	元奈良国立文化財研究所長
菅原 洋一	建造物	三重大学助教授
狩野 博幸	絵画・工芸	同志社大学文化情報学部教授 前京都国立博物館文化資料課長
河田 貞	絵画・工芸	佐川美術館常務理事館長代行 元帝塚山大学教授
水野 敬三郎	彫刻	東京芸術大学名誉教授 新潟県立近代美術館長
熊田 由美子	彫刻	東京芸術大学奈良古美術研究室教員 愛知県立芸術大学講師
赤川 一博	彫刻	四日市市立博物館主幹(学芸員)
稲本 紀昭	文書	前京都女子大学教授
高倉 一紀	文書	皇学館大学教授
岡田 照子	民俗	岐阜女子大学名誉教授
植木 行宣	民俗	元京都学園大学教授
八賀 晋	史跡・考古	三重大学名誉教授
本田 裕	地質鉱物	三重大学教授
伊藤 進一郎	植物	三重大学教授
藤井 伸二	植物	人間環境大学助教授
名越 誠	動物	奈良女子大学名誉教授

第1回審議会

期日	平成18年9月27日
場所	三重県勤労者福祉会館 地階 特別会議室 (津市栄町1丁目 891 番地)
内容	諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問 審議 平成18年度 三重県指定候補文化財の選考及び調査について 平成17年度 三重県指定候補文化財の調査報告について 答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申 報告 平成18年度文化財保護事業について 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について

第2回審議会

期日	平成19年2月28日
場所	三重県庁 講堂棟3階 第131・132会議室 (津市広明町13番地)
内容	審議 平成18年度三重県指定候補文化財の調査報告について 平成18年度三重県指定文化財の指定等について 答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申 報告 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について 文化財保護事業について

4 三重県指定文化財の指定等

種別	有形文化財（建造物）
名称	石薬師寺 薬師堂 附 棟札2枚 寛政元年、寛政六年の記のあるもの各1枚
員数	1棟
構造・規模	木造、桁行3間、梁間4間、寄棟造、1間向拝、本瓦葺
時代	江戸時代前期（寛永6年（1629））
所在地	鈴鹿市石薬師町
所有者	石薬師寺
告示	教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
指定日	平成19年3月27日
指定番号	建44
概要	真言宗の古刹である石薬師寺は、東海道の石薬師宿の南端に位置し、安藤広重の版画にも描かれている。寺記は、嵯峨天皇の勅願所となったことや天正（1573～1592）のころに兵火に罹り、慶長（1596～1615）のころに諸堂が再建されたことを伝えている。本堂に当たる薬師堂は、隅木や棟札の墨書により、寛永6年（1629）に近江大工によって再建、寛政元年（1789）に屋根が葺替えられ、寛政6年（1794）に内陣張付の修復と厨子の再建が行われたことが分かる。

本堂に相当する薬師堂は、桁行3間、梁間4間の単層寄棟、平入り、本瓦葺きの木造建物である。総円柱で、周囲に縁を、正面に向拝を設ける。軒は二軒繁垂木であるが、向拝では三軒となる。正面には格子をはめ、側面は、前より1間目を舞良戸とし、他は背面ともに横羽目の板壁とする。堂内は前後に二分して、内陣と外陣としているが、内・外陣境は開放とする。すべて板敷で、外陣は格天井、内陣は小組折上格天井である。内陣の背面中央間より前方に来迎柱を突出させ、その間に入母屋造、妻入、軒唐破風付き、組物禅宗様尾垂木付きの和様一間厨子を造り付ける。この厨子は地中から立ち上がる薬師如来とされる石仏を奉安するものであり、厨子前面の内陣床を低く下げた板敷としている。

このように正統的な和様意匠を用いた伝統的傾向の強い大型の三間堂であり、建立および改修の年代が明確であるため、技術的・意匠的にこの地方の基準作例となるものとして、歴史的価値が高い。更に三重県内の近世寺院建築としては建築年代も最も早い時期に属するもので、ほぼ類似の形式を備える真言・天台宗の三間堂の中でも最古の例である。



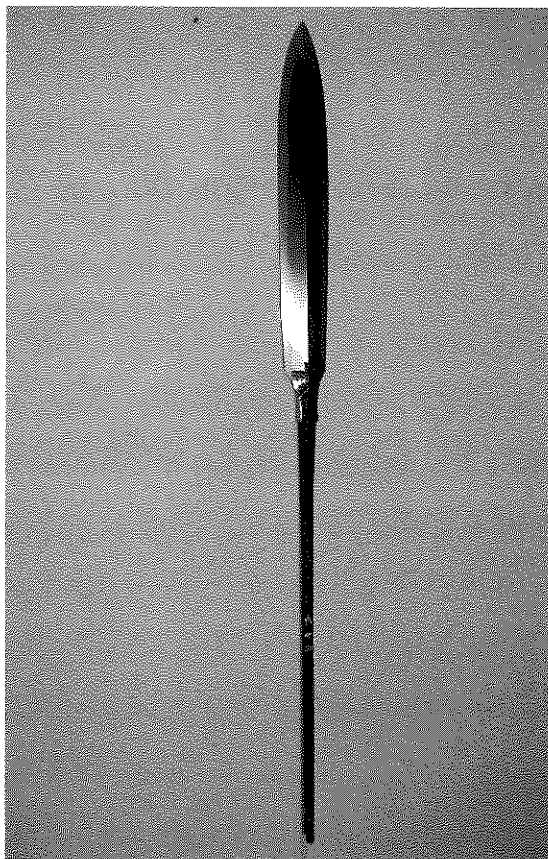
・種 別 有形文化財（工芸品）
名 称 槍 銘 雲林院住包治
員 数 一 口
時 代 室町時代後期（16世紀後半）
所 在 地 四日市市安島 四日市市立博物館
所 有 者 四日市市
告 示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
指 定 日 平成19年3月27日
指 定 番 号 工67

概 要 穂の長さ40.4cm、茎の長さ45.0cm、身幅5.5cmを測る、身幅が広く姿の整った堂々とした槍である。槍は室町時代から戦場での中心的な武器となるが、雑兵などは穂の小さな長柄の槍を使用するのが通常で、本作のように大きく出来の良い笹の葉型の穂先を持つ槍は上級武将が用いたものと思われる。

銘文にある雲林院は、伊勢別街道にほど近い津市芸濃町に現存する地名で、刀工集団である大和手搔派の包永の末流とされる包長（室町時代中期）などが作刀した場所と考えられている。包長の作品には、室町時代後期の文亀（1501～1503年）や享禄（1528～1531年）の年号を持つ短刀が現存し、手搔派末流の作風をみせている。

雲林院包治は、これまでその名が知られておらず、本作によって初めて明らかになった刀工であるが、作風は大和の手搔派よりも相州伝に近いものがあり、包長よりやや時代が下がる室町後期の刀工と考えられる。

本作は、文化庁から四日市市立博物館に譲渡された、いわゆる赤羽刀の一つであるが、雲林院刀工の新資料であり、美術的価値の高い歴史遺産として顕彰し、保護すべき作品である。



- ・種別 有形文化財（彫刻）
- 名称 木造千手観音菩薩立像
- 員数 1 軀
- 時代 平安時代後期（12世紀後半）
- 所在地 伊賀市山出
- 所有者 勝因寺
- 告示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
- 指定日 平成19年3月27日
- 指定番号 彫116
- 概要

本堂（重要文化財 本尊虚空蔵菩薩坐像）の向かって左脇壇に安置される、ほぼ等身の、もとは四十二臂十一面の千手観音像（像高173.9cm）で、檜一木造り。

本像は合掌手の上膊を除くすべての手、および頭上面9面中の8面が後補であり、その眉目も描き直されている。そのために全体にバランスを欠いた印象を受けるが、奥行きのある頭部、両肩や胸部のゆったりとした丸みのある曲線、浅くなだらかな衣文などから、その制作年代は平安後期に溯るとみてよいであろう。とくに唯一残った当初の頭上面には、その彫技がよく示されている。裾の衣文にやや形式化した単調なところがあり、長寛3（1165）年銘の福井・羽賀寺千手観音菩薩像や、嘉応2（1170）年銘の滋賀・福壽寺千手観音菩薩像に通じることから、ほぼその頃の制作と考えられる。県下では数少ない平安時代12世紀後半に溯る等身大規模の千手観音立像として貴重である。



- ・種 別 有形文化財（彫刻）
- 名 称 木造聖観音菩薩立像
- 員 数 1 軀
- 時 代 平安時代後期（11世紀中頃）
- 所 在 地 伊賀市山出
- 所 有 者 勝因寺
- 告 示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
- 指 定 日 平成19年3月27日
- 指 定 番 号 彫117
- 概 要 本堂（重要文化財 本尊虚空蔵菩薩坐像）の向かって右脇壇に安置される聖観音菩薩立像で、檜一木造り、像高153.7cm。

両肩から左手上膊、右手先を含む頭体の主要部を一材から彫出し、内割りもほどこさない本像の構造は古様であり、大ぶりの髻（上半は後補）や足先（先端は後補）、やや突き出した形の口唇とともに、平安前期様式の余風を残している。

しかし、体躯の奥行きや量感は大きく減じ、面貌も平面的で穏和になっており、翻波式衣文も全くみられないことから、制作は平安時代後期11世紀中～後半まで降るものと考えられる地方的作例である。背面が極端に省略されていることから、神仏習合的な本地仏像であったことも考え得る。



- ・種 別 有形文化財（彫刻）
- 名 称 木造阿彌陀如来坐像
- 員 数 1 軀
- 時 代 平安時代後期（12世紀末）
- 所 在 地 伊賀市長田
- 所 有 者 西蓮寺
- 告 示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
- 指 定 日 平成19年3月27日
- 指 定 番 号 彫118
- 概 要

西蓮寺本堂の須弥壇上に安置される来迎印の本尊阿彌陀如来坐像で、寺伝では廃仏性寺の旧仏であったと伝えられる。像高97.9cm。檜寄木造り。

光背に元禄4（1691）年の銘があり、その頃の修理によって当初の漆箔のうえに、泥地・金泥（肉身部）、漆箔（着衣部）がほどこされているため、その構造を詳らかにし難いが、頭体幹部の前面が左右2材、後面1材の寄木造りとみられる。当寺の薬師如来像に比して小さめの頭部、小粒の螺髪をもち、より都ぶりの整った頭体比例の像ながら、衣文はやや硬化し、年代のさらにすすんだ作風を示す。体軀の各部のつながりもややこじんまりとした感がある。平安時代末期、12世紀末に入っの制作とみられる。表面が後補ではあるが、両手ともに第3・4指等を除いて当初の掌をよく残す。穏やかで端正な都ぶりの面貌をもち、浅くならかな衣文に完成された和様の伝統を示す平安後期の作である。



- ・種 別 有形文化財（彫刻）
- 名 称 木造薬師如来坐像
- 員 数 1 軀
- 時 代 平安時代後期（12世紀中頃）
- 所 在 地 伊賀市長田
- 所 有 者 西蓮寺
- 告 示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
- 指 定 日 平成19年3月27日
- 指 定 番 号 彫119
- 概 要

医王山を号する西蓮寺の本堂後方にある薬師堂の本尊で、像高104.5cm、檜の割矧ぎ造り。丸くならかな肩線と抑揚をおさえた胸、浅く流麗な衣文や薄い膝部などから、平安後期の定朝様を踏襲した作例のひとつと知られる。

頭部が大きめの頭体比例、高大な肉髻、張り出しの強い頬、眦のあがった明瞭なまなざしや意志的に強く結ばれた口唇などの点、繊細な衣文表現に比して螺髪が大ぶりで古様である点は、地域的な一傾向とみられる。丸みの強い面貌と勢いのある螺髪の彫口、柔軟な衣文表現から、12世紀中頃（1140～60年頃）の作と考えられる。

表面は後世の泥地・漆塗りの上に肉身部は金泥塗り、着衣は彩色仕上げとする。後筆の墨描で面貌の印象が損なわれてはいるが、当地における趣向と確かな彫技をうかがいうる作例である。



・種 別 有形文化財（典籍）
 名 称 宗国史（崇廣堂本）
 員 数 1種32冊
 時 代 江戸時代後期
 所 在 地 伊賀市上野丸之内 伊賀市上野図書館
 所 有 者 伊賀市
 告 示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
 指 定 日 平成19年3月27日
 指 定 番 号 典55
 概 要 『宗国史』は、藤堂家の分家である出雲家6代の藤堂高文（1720～1784）編修、同家9代

の高芬（1785～1840）校訂とされる藤堂藩の歴史をまとめた書籍である。編修当初の寛延4年（1751）には全100巻の膨大な構想が立てられたが、実際に脱稿された巻冊数がどれ程のものであったかは不明である。

現存する諸本のうちでは最もまとまったものが崇廣堂本で、6編32巻32冊が残り、筆跡は2筆に分かれる。藩校伊賀枝校の崇廣堂蔵書として伝来するが、その全てに11代藩主藤堂高猷（1813～1895）の蔵書印「観月楼図書」の印記が見られ、藤堂本家旧蔵本の由が窺われる。また、校訂者高芬の墓碑には、文政11年（1828）に高猷へ献上した旨の一節があり、当該稿本がこの際の高芬献上本を含む可能性も併せて考えられる。藤堂本家に伝来した『宗国史』は昭和の戦災によって焼失したが、明治20年に内閣臨時修史局が転写し、東京大学史料編纂所に全8巻6冊が所蔵されている。これの行数や1行字数は崇廣堂本とほぼ一致し、筆跡からも藤堂家本と崇廣堂本の一部が、同一人の手跡であった可能性を窺わせる。

『宗国史』稿本は、この他に藤堂高文・高芬の属す出雲家と藩校有造館にまとまった稿本が所蔵されていたが、戦災や散佚により、有造館本の1巻1冊が残るに過ぎない。このように、他の主要伝本が全て失われた今日、揃本とは言えないまでも32冊の大部に及び、高芬校訂の直後もしくはほぼ同時期に成立したと考えられる崇廣堂本『宗国史』の価値は極めて高いものと評価できる。

装訂：袋綴四針眼（一部は五針眼）訂法 表紙：渋横刷毛目表紙

丁数：21丁～71丁 寸法：約27cm×18cm



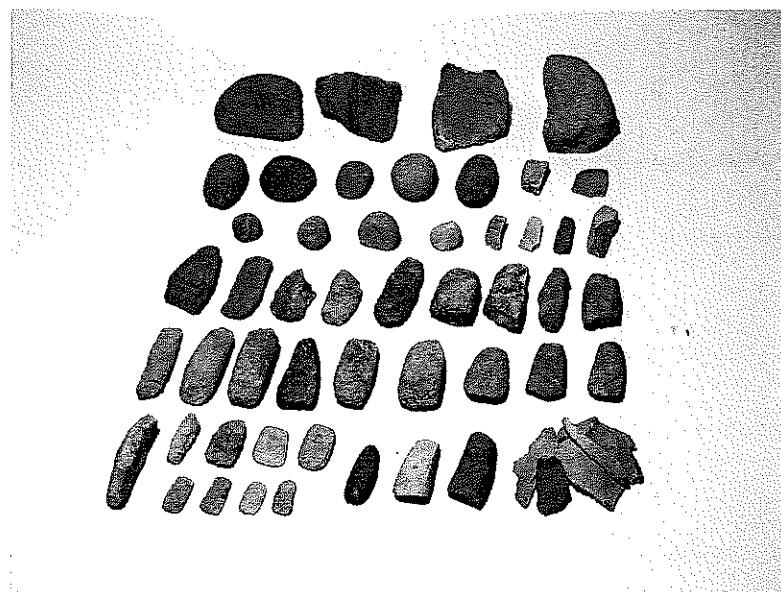
種 別 有形文化財（考古資料）
 名 称 磨製石斧製作関係資料一括（宮山遺跡）
 員 数 121点
 時 代 弥生時代中期
 所 在 地 三重県多気郡明和町竹川 三重県埋蔵文化財センター
 所 有 者 三重県
 告 示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第9号
 指 定 日 平成19年3月27日
 指 定 番 号 考28

概 要 本件は、三重県いなべ市片楯に所在する宮山遺跡の発掘調査によって出土した、弥生時代中期の磨製石斧の製作に関連した考古資料である。

宮山遺跡は、員弁川とその支流の青川に囲まれた河岸段丘上にあり、国道475号東海環状自動車道建設工事に先立ち、平成7年度に三重県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。この結果、弥生時代中期中葉を中心とする住居跡群が発見され、住居跡の周辺からは製作段階で破損した石斧の未成品と製作工具及び製作工程途上に生じた石屑が多量に出土し、磨製石斧が集中して製作された遺跡であることが判明した。出土した磨製石斧は大部分が未成品で、製作工程別に、剥離段階の未成品、敲打段階未成品、完成品の可能性があるものなどがある。完成品がほとんどないことから、完成品は他所に集積した後、別途各集落に流通したと考えられる。また石斧以外に、石斧製作工程の剥離段階の際に生じた石屑や、敲打段階に用いたと考えられる石製の敲打具、石斧の研磨の際に用いた研磨具や砥石も出土する。敲打具には敲打痕がみられ、研磨具や砥石には円滑な砥べり面が認められる。また石斧製作に用いられた石材は、古生層の塩基性凝灰岩のホルンフェルス的一种で、ハイアロクラスタイトと呼ばれるものであることが判明している。

ハイアロクラスタイトは、当遺跡所在地を流れる青川の上流にあたる鈴鹿山系の一部で産出することが確認されており、青川河床や段丘礫中にも多く含まれている。この石材で製作された石斧は、津市納所遺跡や四日市市菟上遺跡、明和町金剛坂遺跡、愛知県清須町朝日遺跡など、伊勢湾沿岸部の代表的な弥生時代の遺跡で確認されている。

このように、本件は弥生時代の代表的な生活用具の製作過程とその流通を解明するための重要な考古資料として、三重県の文化・歴史上学術的価値が極めて高いものである。



種別	有形民俗文化財
名称	諸手船
員数	1艘
時代	昭和7年
所在地	南牟婁郡紀宝町鶴殿
所有者	烏止野神社氏子総代会
告示	教育公報第1543号三重県教育委員会告示第35号
指定日	平成18年10月27日
指定番号	有民24
概要	

諸手船は、熊野速玉大社（和歌山県新宮市）例大祭（10月15・16日）で行なう御船祭で使用する船である。熊野速玉大社例祭は、神馬渡御式、神輿渡御式、御船祭で構成され、全体を「熊野速玉祭」として、和歌山県指定無形民俗文化財（昭和39年5月28日）に指定されている。御船祭は、16日に行われる早船の競漕で、諸手船は大社の神霊を乗せた「神幸船」を曳航して先導する。そして、船上でハリハリ踊りを行いながら、熊野川にある御船島を回り、対岸にある「御旅所」へと「神幸船」を導く。

漕手と踊手（西家）として烏止野神社（紀宝町鶴殿）の氏子総代有志が奉仕している。現在の諸手船は、昭和7年（1932）6月に製作したもので、鶴殿の収納庫に保管され、烏止野神社氏子総代会の人たち二十数人が管理している。寸法は、総長44尺5寸（13.4m）肩幅7尺（2.1m）敷長29尺（8.8m）で、形態は熊野灘沿岸の漁船に近く、その構造は水押が反り出ている天頭型で鯨・鯨船などにみられた海型である。また、船大工の高度の技術がうかがえること、機能的には船体が細身で速力と機敏性をもっていること、熊野水軍の主力軍船、小早（関船）の形態を残す貴重な船であることが指摘される。

これらのことから、諸手船は、海型の川船の特長を維持する船として価値有るものと認められる。



・種 別 史跡
名 称 縄生廃寺
員 数 1
時 代 白鳳時代
所 在 地 三重郡朝日町大字縄生字中谷
所 有 者 朝日町ほか
告 示 教育公報第1549号三重県教育委員会告示第10号
指 定 日 平成19年3月27日
指 定 番 号 史83
概 要

縄生廃寺は、員弁川南岸の海岸平野に面した丘陵の狭い尾根上に立地する寺院で、7世紀後半から8世紀初頭に創建され、9世紀中頃以降に廃絶したものと考えられる。昭和61年からの発掘調査の結果、塔の基壇（東西10.0×南北10.2m）と金堂と推定される小堂の基壇（東西18.0×南北7.0m）の一部が確認された。塔の地下式心礎の舍利穴内からは、納置品（ガラス舍利容器・石製外容器・被覆用の三彩椀：平成元年国重要文化財指定）が一括で発見された。基壇部分には、瓦積みの基壇化粧が施されていた。また、塔基壇の西側では倒壊したままの状態ですぐれ瓦が検出された。

縄生廃寺は、狭小な丘陵上に造営された白鳳寺院という特殊性とともに、遺構の残存の度合い、日本考古学史に残る舍利容器の発見等、三重県の古代史上欠くことのできない重要な遺跡であり、県史跡に指定し、今後の保存と活用に資するものである。縄生廃寺の伽藍配置等の全体状況については必ずしも明確になっていないが、周辺に関連遺構が存在することも想定され、今後も確認調査や保存範囲の拡大を進めることが望ましい。

なお、縄生廃寺を朝明郡の郡寺と比定すると、朝明郡の正倉院などと推定される史跡久留倍官衙遺跡（四日市市・平成18年国指定）との関係も注目される。



・種 別 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
名 称 答志寝屋子制度

所 在 地 鳥羽市答志町答志地区

選 択 日 平成19年2月28日

概 要 鳥羽市答志町答志地区では、男子が15歳になると数人の仲間で相談し、家の広さや人柄などの条件を考慮して寝屋親を頼みにいく慣習がある。寝屋親は寝屋として自宅の一室を貸し与え、子供たちは自宅で夕食をすませると寝屋に集まり、寝屋子として寝泊りしながら時間を共有することになる。この仲間達は寝屋子朋輩として、実の兄弟同様の結束を固める。寝屋子は27歳で解散するが、その後も寝屋子朋輩を核とする朋友会を結成し、生涯親密な付き合い関係が続ける。また、寝屋親を実の親と同様に敬い、生涯親子関係の付き合いを続ける。

平成18年度現在、寝屋子は10組が組織されており、1組あたりの寝屋子数は6人ほどである。答志地区において寝屋子は結成と解散を繰り返すため、調査年によって組数は異なるが、概ね十数組であるが、減少傾向にある。また、各寝屋子の人数は一定ではないが、5～10人前後である。また、寝屋には、屋号や主人の名前などの呼び名をつけて、「〇〇寝屋」と称している。なお、寝屋子は慣習として地域に定着しているもので、規約や管理団体等は存在していない。

寝屋の慣習は、かつては西日本の漁村を中心に広範囲にみられたが衰微し、ほとんど存続していない。鳥羽市においても各地で行われていたが、現在では答志町答志地区においてのみ続けられ、三重県内においても例をみない。寝屋子の慣習は、漁村に住む人々が地域の環境に適した生活方法を形成し、一種の擬制的親子関係や擬制的兄弟関係を結ぶものであるが、現代では生活形態や地域社会の変容により、伝統的な慣習の維持が危惧される状況にある。

よって、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択し、記録による保存をはかる必要がある。



5 市町指定文化財の指定

市町名	種別	名称	員数	所在地	所有者・ 管理者・ 技術保持者	指定日
いなべ市	有形民俗	坂本の曳山車 附坂本青年団文書	1台	いなべ市藤原町坂本	坂本区	18.7.27
	天然記念物	篠立堰堤より上流の三国谷に生息する無斑型(イワメ)を含むアマゴ個体群		いなべ市藤原町篠立		
四日市市	有形(考古資料)	茶臼山古墳群出土品(須恵器群・埴輪群)	一括 (32点)	三重県四日市市寺方町	四日市市	18.2.23
		御池古墳群出土品(装飾須恵器・特殊須恵器)	一括 (5点)	文化財整理事業所		
		装飾須恵器台付三連壺(北中寺遺跡)	1点	三重県四日市市安島 四日市市立博物館		
松阪市	有形(古文書)	浄眼寺文書	3巻1幅 22点	松阪市大阿坂町	浄眼寺	18.3.23
	有形(史跡)	八田城跡	12,051 m ²	松阪市嬉野八田町字城山	(個人)	
	有形(考古資料)	高田2号墳出土埴輪	円筒埴輪 3点、朝顔形埴輪 1点	松阪市五曲町 松阪市文化財センター	松阪市	19.1.18
	天然記念物	松尾のマメナシ	1本	松阪市岡山町字平林	所有者:(個人) 管理者:岡山町自治会	
鳥羽市	有形(歴史資料)	鳥羽・長尾オルガン	1台	鳥羽市大明西町	鳥羽・長尾オルガン協会	18.4.26
	天然記念物	鳥羽・大村島の枕状溶岩		鳥羽市浦村町大村島	鳥羽磯部漁業協同組合浦村支所	
伊賀市	有形(絵画)	絹本着色地藏十王図	11幅	伊賀市長田	西蓮寺	19.1.23
	有形(彫刻)	石造地藏菩薩半跏像	1軀	伊賀市川合	波敷野区長 大江区长	
	有形(古文書)	豊臣秀吉朱印状	1幅	伊賀市中馬野	(個人)	
尾鷲市	無形文化財(工芸技術)	木工技術		尾鷲市栄町	畑中 昇	18.10.20
	無形文化財(芸能)	尾鷲節笛		尾鷲市中井町	山西俊徳	

II 県実施の調査・保護事業

1 特別天然記念物カモシカ（S30. 2. 15指定）調査〔国庫2/3補助・県 6,420千円〕

(1) 特別天然記念物カモシカ第4回鈴鹿山地特別調査（平成18・19年度継続事業）

①調査目的

特別天然記念物カモシカの保護施策として、昭和58年9月に鈴鹿山地の保護地域が設定され、平成元年7月に紀伊山地の保護地域も設定された。これらの保護地域周辺において、おおむね5年に一度、カモシカの生息状況や生息環境を把握し、過去の特別調査結果と比較するとともに、保護対策を検討する。

②調査体制

調査主体 三重県教育委員会・滋賀県教育委員会
調査指導 三重県カモシカ保護管理指導委員
富田 靖男（元三重県立博物館長）
武田 明正（元三重大学生物資源学部教授）
松原準之助（元三重県森林組合連合会会長）
事業費 5,000千円
調査委託先 財団法人 自然環境研究センター
調査協力 三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）

③鈴鹿山地カモシカ保護地域第4回特別調査指導委員会

期 日 平成18年11月22日（水）
場 所 滋賀県庁大津合同庁舎7-A会議室
出席者 三重県カモシカ保護管理指導委員：富田靖男・松原準之助
三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）1名
滋賀県カモシカ保護管理指導委員
三重県教育委員会・滋賀県教育委員会・財団法人自然環境研究センター

④調査報告書 平成19年度刊行予定

(2) 特別天然記念物カモシカ紀伊山地通常調査

①調査目的

おおむね5年に一度実施されるカモシカ特別調査を補完のため、特別調査の実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成18年度は特別調査の行われぬ、紀伊山地保護地域周辺で実施した。

②調査体制

調査主体 三重県教育委員会
調査指導 第4回鈴鹿山地特別調査に同じ
現地調査 三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）
今西 隆次・河合 信行（松阪市） 岡本 宏之・水谷 哲也（大台町）
小倉 保則・宮坂幸治郎（紀北町紀伊長島区）
大西 克明・玉津 直人（紀北町海山町区） 吉澤 映之・吉澤 重之（尾鷲市）

③三重県カモシカ保護連絡会議

期 日 平成18年9月21日（木）
場 所 エコミュージアムセンター「宮川流域交流館 たいき」（大紀町阿曾）
出席者 三重県カモシカ保護管理指導委員：富田靖男・武田明正・松原準之助
三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）7名

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

- ・目的 特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する。
- ・主催 文化庁・山梨県教育委員会
- ・期日 平成18年10月13日(木)～14日(金)
- ・会場 ホテル花いさわ 及び 関東山地モシカ保護地域
- ・出席者 富田靖男・武田明正(三重県指導委員) 福田良彦(文化財保護室)が三重県から出席

2 ふるさと文化再興事業

(1) 目的

各地域で培われた伝統文化の活性化を目的とする事業で、各地の祭礼習俗、民俗芸能、伝統工芸技術等の無形の文化財保存団体に対し、「松阪伊勢地域伝統文化伝承事業マスタープラン」に定めるところの「拠点内地域」と「分野別地域」とに分け、伝承用の映像記録の作成や祭礼用具等の修理を援助していくものである。

(2) 事業内容

〔拠点内地域〕 (松阪伊勢地域)

- ・佐八・円座の羯鼓踊 映像記録の作成

援助金 6,036 千円

制作会社 株式会社 CNインターボイス

指導委員 植木 行宣(三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授)・岡田 照子(三重県文化財保護審議会委員・岐阜女子大学名誉教授)・東條 寛(関西大学大学院講師・四日市市立図書館副館長)

- ・麻加江のかんこ踊り 映像記録の作成

援助金 4,823 千円

制作会社 有限会社 海プロダクション

指導委員 植木 行宣(三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授)・鬼頭 秀明(愛知県文化財保護審議会委員)・櫻井 治男(皇學館大学教授)・野村 史隆(鳥羽市教育委員会文化財専門員・元海の博物館学芸員)

〔分野別〕

- ・ 亀山藩御流儀心形刀流武芸形 用具整備

援助金 118 千円

請 負 有限会社 濃州堂

3 埋蔵文化財緊急発掘調査等

(1) 斎宮跡発掘調査 [国庫 1/2 10,650 千円・三重県 10,650 千円]

国史跡斎宮跡解明のために2地区 1,150 m²の計画調査を実施した。他に、これまでの調査成果を管理するため、斎宮跡調査管理システムを運用している。

次数	地区	面積m ²	現地調査期間	主要遺構・遺物
149	竹川地区	650.0	H18.8.21～ H18.11.15	弥生時代後期の方形周溝墓4基、古代の掘立柱建物3棟・堅穴住居1棟、土坑、時期不明の溝1条など・弥生土器、土師器、須恵器、陶器など

150	東加座南地区	500.0	H18.10.16～ H19.1.10	区画道路、道路交差点、溝、土坑など・土師器、須恵器、灰釉陶器など
計		1,150.0		

(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査

[農水商工部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費 36,954 千円うち農家負担分 3,032 千円
国庫 1/2 1,516 千円・三重県 1,561 千円]

農業基盤整備に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

(農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 m ²	主要遺構・遺物
大木ノ輪遺跡他	鈴鹿市箕田他	経営体育成事業	H18.10.16 ～ H18.11.10	380	井戸、溝、土坑、ピット・土師器、須恵器、山茶碗、木製品
東沖遺跡他	松阪市茅原町他	中山間地域総合整備事業	H18.5.17 ～ H18.9.29	3,480	土坑、柱穴、溝、中世墓、石組み遺構、掘立柱建物など・土師器、陶器、山茶碗、山皿、青磁、白磁、鉄製品、漆碗、銭貨など
琵琶垣内遺跡他	松阪市他	経営体育成事業	整理		
魚見里前遺跡他	松阪市	経営体育成事業	整理		
有井遺跡他	伊賀市西明寺	経営体育成事業	整理		
計				3,860	

(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業 [国庫1/2 2,200千円・三重県 2,200千円]

亀山市太岡寺古墳および鈴鹿市加和良古墳から出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成18年度は、長頸鏃、鉄斧、鏃、刀子等38点の保存処理を実施。

(処理受託 財団法人元興寺文化財研究所)

(4) 紹介・周知整備整理事業 [国庫1/2 1,914千円・三重県 1,914千円]

県民等への埋蔵文化財保護行政への理解を深めることを目的に、県内遺跡から出土した埋蔵文化財等の資料を積極的に活用する。

平成18年度は、三重県埋蔵文化財展で、南北朝期から戦国時代末まで伊勢国で最大の支配者として君臨した北畠氏が拠点とした多気(津市美杉町)の発掘成果を中心に、北畠氏が繰り広げた様々な文化や支配の状況を紹介する「北畠氏その時代」を実施し、県内遺跡の発掘調査で出土した埋蔵文化財の展示事業や関連資料の配布、また講演会の開催などを通して文化財保護行政への理解を得ることを図った。

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物保存修理事業

① 専修寺御影堂（専修寺・津市）〔S36. 6. 7 指定〕

事業概要 全体計画 平成11年度から19年度まで専修寺御影堂の半解体修理。
平成18年度事業 木工事・左官工事・建具工事・塗装工事・金具工事など

事業費 総事業費 2,950,000千円（平成11～19年度）
平成18年度 261,539千円（国65% 170,000千円、県7.5% 19,615千円）

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会
工事請負 株式会社竹中工務店名古屋支社
指導委員 鈴木 嘉吉（元奈良国立文化財研究所長） 金野 潔（京都大学名誉教授）
菅原 洋一（三重大学助教授） 平松 令三（元龍谷大学教授）

修理委員会 平成18年11月15日

② 旧松坂御城番長屋（合資会社苗秀社・松阪市）〔H16. 12. 10 指定〕

事業概要 調査工事 平成18年度から19年度まで
修理工事着手に先立ち、各部の破損状況の詳細な把握とその原因の究明並び
に対策の立案を行う。

事業費 総事業費 8,930,000千円（平成18～19年度）
平成18年度 4,682千円（国50% 2,341千円、県10% 468千円）

実施機関 財団法人文化財建造物保存技術協会

(2) 建造物防災施設事業

① 専修寺御影堂及び如来堂（宗教法人専修寺・津市）〔S36. 6. 7 指定〕

事業概要 全体計画 平成18年度から19年度まで御影堂及び如来堂の防火設備工事。
平成18年度事業 ポンプ機器設備、ポンプ室電気設備、屋外配管工事、
ポンプ制御配線設備、防災照明工事。

事業費 総事業費 124,749千円（平成18～19年度）
平成18年度 51,427千円（国60% 30,856千円、県10% 5,142千円）

工事監理 財団法人文化財建造物保存技術協会
工事請請負 ニッタン株式会社中部支社

② 神宮祭主職舎本館（旧慶光院客殿）（神宮・伊勢市）〔H14. 12. 26 指定〕

事業概要 全体計画 平成17年度から18年度まで本館の防火設備工事。
平成18年度事業 ポンプ庫新設。警報設備、自動火災報知設備設置。
消火設備（消火ポンプ、給水ポンプ、消火水槽、屋外消火栓、放水銃）設置。

事業費 総事業費 39,647千円（平成17～18年度）
平成18年度 34,647千円（国50% 17,323千円、県10% 3,464千円）

工事監理 株式会社林廣伸建築事務所
工事請請負 清水建設株式会社名古屋支店

(3) 重要伝統的建造物群保存事業

亀山市関宿重要伝統的建造物群保存地区・保存修理（亀山市）〔S59. 12. 10 選定〕

事業概要 亀山市関宿重要伝統的建造物群保存地区内において、建造物等の保存のため

修理工事。修理 9 件（半解体修理 3 件、部分修理 5 件、前面修景 1 件）
 事業費 25,000 千円（国 50% 12,500 千円、県 10% 2,500 千円）
 設計監理 亀山市教育委員会
 工事請負 地元建築会社等

(4) 美術工芸品保存修理事業

- ① 木造普賢菩薩坐像（普賢寺・多気町）〔T2. 8. 20 指定〕
 事業概要 殺虫、虫損等の充填、彩色補正・剥落止め等の修理を実施。
 事業費 2,387 千円（国 85% 2,028 千円、県 10% 238 千円）
 工事請負 財団法人美術院
- ② 旧永島家襖絵（三重県）〔H10. 6. 30 指定〕
 事業概要 裏打ち打ち替え、下地骨・縁木新調、引手の調整等の修理を実施。
 事業費 9,209 千円（国 50% 4,604 千円）
 修復受託 株式会社 文化財保存
- ③ 角屋家貿易関係資料（宗教法人神宮・伊勢市）〔S57. 6. 5 指定〕
 事業概要 部分解体。補修裂や補修糸、仕立て糸は天然染料で染色調整。
 桐被蓋保存箱を新調し、中に桐下簀板を入れる。
 事業費 2,979 千円（国 50% 1,489 千円、県 10% 297 千円）
 修復受託 株式会社 松鶴堂

(5) 美術工芸品調査事業

伊勢神宮領農村文書調査 史料調査（伊勢市）

事業概要 伊勢神宮領であった伊勢市の四郷地区の諸町には、総点数約 15 万点の古文書、古記録などが所蔵されている。これら四郷地区諸町の史料群は、伊勢神宮領の農村の村落構造、参宮客の受け入れ態勢、宇治会合という住民組織による行政支配、山田奉行や伊勢神宮との関係等を解明する上で重要なものである。しかし、保存環境が整っておらず、史料群の内容も明らかとなっていないため、早急に包括的な資料調査を行い資料の保存活用に資する。なお、三重県史編纂事業・伊勢市史編纂事業と分担・連携して調査を行う。

平成 15～19 年度の 5 ヶ年事業として実施予定。

事業費 3,000 千円（国 50% 1,500 千円、県 10% 300 千円）

調査主体 伊勢市

〔指導委員〕

上野 秀治	（皇學館大学教授）	茂木 陽一	（三重短期大学教授）
塚本 明	（三重大学教授）	田浦 雅徳	（皇學館大学助教授）
伊藤 雅紀	（皇學館大学講師）	岡 與一	（伊勢市文化財調査会会長）
吉村 利男	（三重県生活部県史編纂 G）	藤谷 彰	（三重県生活部県史編纂 G）

〔専門委員〕

上野 秀治	（皇學館大学教授）	茂木 陽一	（三重短期大学教授）
塚本 明	（三重大学教授）	田浦 雅徳	（皇學館大学助教授）
伊藤 雅紀	（皇學館大学講師）	谷口 裕信	（皇學館大学文学部講師）
門 暉代司	（本居宣長記念館館長）	千枝 大志	（本居宣長記念館研究員）
谷口 央	（日本学術振興会特別研究員）	鈴木 えりも	（三重県史専門調査員）
上野 周子	（三重県史編さん室嘱託）	川口 愛	（三重県史編さん室嘱託）
山本 梨加	（三重県史編さん室嘱託）	澤山 孝子	（三重県史編さん室嘱託）

(6) 重要無形文化財保持団体補助事業

伊勢型紙（伊勢型紙技術保存会・鈴鹿市）〔S30. 2. 15・平成5. 4. 15認定〕

事業概要 技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図る。
普及啓発のため、文化庁主催展覧会「日本の技と美」などに作品を出品。

事業費 7,000千円（国定額（77%） 5,400千円、県10% 700千円）

(7) 民俗文化財伝承・活用事業

① 上野天神祭のダンジリ行事（上野中町自治会・伊賀市）〔H14. 2. 12指定〕

事業概要 中町の楼車印見送幕新調

事業費 3,500千円（国50% 1,750千円、県10% 350千円）

工事請負 龍村美術織物販売

(8) 民俗文化財調査事業

一色の翁舞 民俗文化財調査（伊勢市）〔H7. 12. 7選択〕

事業概要 記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財となっているが、調査が未実施であった。

平成18年度と19年度で、文献調査、資料調査、実地調査、用具調査など、総合的に調査を行い報告書を作成する。

事業費 2,000千円（国50% 1,000千円、県10% 200千円）

調査体制 [記録作成委員会]

植木 行宣（三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授） 委員長

岡田 照子（三重県文化財保護審議会委員・岐阜女子大学名誉教授）

天野 文雄（大阪大学教授） 副委員長

高林 白牛口二（喜多流能楽師）

土谷 喜八郎（一色町能楽保存会長）

浜口 主一（伊勢市文化財保護審議会長）

[調査委員会]

植木 行宣（三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授） 委員長

天野 文雄（大阪大学教授） 副委員長

山川 暁（京都国立博物館学芸員）

大谷 節子（神戸女子大学教授）

宮本 圭造（大阪学院大学助教授）

見市 泰男（能面作家）

飯塚 恵理人（椋山女学園大学助教授）

中尾 薫（大阪大学大学院博士後期課程）

奥富 利幸（小山工業高等専門学校助教授）

鬼頭 秀明（愛知県文化財保護審議会委員）

(9) 史跡等保存整備事業

① 史 天白遺跡 史跡等・登録記念物保存修理（松阪市）〔H12. 4. 11指定〕

事業概要 天白遺跡は縄文時代後期の配石遺構や祭祀遺物が確認された遺跡であり、整備を実施するための確認調査を行い、劣化石材の保存処理を行う。
（平成14年度～）

18年度事業 石材保存処理と露出展示を予定していた遺構部分の埋め戻し（500㎡）を行った。

事業費 2,700千円（国50% 1,350千円、県10% 270千円）

各種調査 石材保存処理：株式会社アクト

指導委員

八賀 晋 (三重大学名誉教授) 泉 拓良 (京都大学大学院教授)
岡村 道雄 (奈良文化財研究所企画調整部長) 仲 隆裕 (京都造形芸術大学教授)
橋爪 貴子 (NPO 法人 五十鈴塾理事) 小玉 道明 (松阪市文化財保護審議委員)

指導委員会 平成18年8月12日・平成18年10月27日

② 史 上野城跡 史跡等・登録記念物保存修理 (伊賀市) [S42. 12. 27 指定]

事業概要 「史跡上野城跡保存整備 (前期) 実施計画」にもとづき、城代家老屋敷跡を中心に発掘調査等により遺構の解明を図り、その成果を踏まえて保存整備を進めることにより文化財としての価値を顕在化し活用を図る。(平成14年度～)

18年度事業 史跡整備の基礎資料するため、城代家老屋敷跡表門南部約40㎡と表門東側石垣上端部約20㎡、台所門西側石垣部約60㎡の発掘調査および表門東部・北部、西面の石垣の三次元レーザー測量を実施した。

事業費 5,900千円 (国50% 2,950千円、県10% 590千円)

各種調査 石垣測量：イビソク

指導委員

八賀 晋 (三重大学名誉教授) 服部 英雄 (九州大学大学院教授)
高瀬 要一 (奈良文化財研究所文化遺産研究部長) 増淵 徹 (京都橘大学助教授)
菅原 洋一 (三重大学助教授) 藤田 達生 (三重大学教授)
福井 健二 (伊賀市文化財保護審議会委員)

指導委員会 平成18年10月20日・平成19年1月31日

③ 史 斎宮跡 史跡等・登録記念物保存修理 (明和町) [S54. 3. 27 指定]

事業概要 史跡北東端に位置する、建物の残骸や基礎が残る旧陸軍施設跡を、『斎宮跡整備基本構想』にもとづく「集落地区整備ゾーン」の一部として整備する。(平成16～18年度)

18年度事業 雨水対策のための側溝と広場等の整地及びトイレ・ベンチ等を設置した。

事業費 18,322千円 (国50% 9,161千円、県10% 1,832千円)

④ 史 旧崇廣堂 史跡等・登録記念物保存修理 (伊賀市) [S5. 11. 19 指定]

事業概要 中土塀の漆喰壁は大きくひび割れ、躯体と土壁が大きく肌別れしているため、原因を究明し、保存修理を4ヶ年で行う。(平成18年度～)

18年度事業 中土塀を解体して、躯体の日干しレンガの一部を製作した。

事業費 6,200千円 (国50% 3,100千円、県10% 620千円)

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

指導委員 鈴木 嘉吉 (元奈良国立文化財研究所長) 菅原 洋一 (三重大学助教授)

指導委員会 平成18年10月2日

⑤ 名 諸戸氏庭園 史跡等・登録記念物保存修理 ((財) 諸戸会) [H14. 12. 14 指定]

事業概要 庭園内の灯籠の現況調査を行うとともに、損傷の激しいものについては、修復・保存処理を行う。

18年度事業 66基の灯籠について形状・岩質・風化状況を調査し、台帳を作成した。また、特に損傷の激しい4基については、表面を洗浄したうえで、石材の強化のために薬剤を含浸させ、欠損部分について一部修復を行った。(単年度)

事業費 2,100千円 (国50% 1,050千円、県10% 210千円)

各種調査 石材保存処理：株式会社アクト

(10) 史跡等買上げ事業

- ① 史 齋宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）（明和町）〔S54. 3. 27 指定〕
事業概要 史跡齋宮跡の公有化（昭和54年度～継続事業）
18年度事業 2,355㎡（7筆）の買上
事業費 67,343千円（国80% 53,874千円、県15% 10,101千円）
- ② 史 齋宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）（明和町）〔S54. 3. 27 指定〕
事業概要 平成12～14年度先行取得による公有化にかかる起債の償還
18年度事業 平成12～14年度の償還分
事業費 185,749千円（国80%148,596千円、県15% 27,860千円）
- ③ 史 伊勢国府跡 史跡等買上げ（直接買上げ）（鈴鹿市）〔H14.3.19 指定〕
事業概要 史跡伊勢国府跡のうち政庁の公有化
18年度事業 1,425㎡（1筆）の買上
事業費 13,330千円（国80% 10,664千円、県10% 1,333千円）

(11) 天然記念物食害対策事業

カモシカ（大台町、紀北町、尾鷲市ほか）〔S30. 2. 15 指定〕

事業概要 カモシカ保護地域が設定されている市町において、食害対策のため保護柵を設置。

総事業費 21,261千円（国2/3 14,174千円、県1/6 3,376千円）

市町村名	事業費 (千円)	箇所数	面積 (ha)	柵総延長 (m)	受託者
大台町	8,505	3	4.19	2,031	宮川森林組合
紀北町	5,898	6	5.69	2,572	森林組合おわせ
尾鷲市	6,858	4	4.62	2,752	森林組合おわせ
計	21,261	13	14.50	7,355	

(12) 天然記念物再生事業

- ① 天 ネコギギ 天然記念物緊急調査（いなべ市）〔S52. 7. 2 指定〕

事業概要 絶滅の危機に瀕している員弁川水系のネコギギ個体群の再生を図るため、同水系に残存しているネコギギの生息状況調査ならびに保護増殖を行う。

18年度事業 1支流に残存しているネコギギの継続調査および志摩マリンランドでの保護増殖

事業費 2,000千円（国50% 1,000千円、県10% 200千円）

指導委員 名越 誠（三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授）

森 誠一（委員長・岐阜経済大学教授）

萱場 祐一（独立行政法人土木研究所 自然共生研究センター長）

田代 喬（名古屋大学工学部助手）

原田 泰志（三重大学生物資源学部教授）

渡辺 勝敏（京都大学大学院理学研究科助教授）

指導委員会 平成18年6月1日・平成18年9月25日・平成19年2月28日

(13) 紹介・周知整備整理事業

松阪市 埋蔵文化財 埋蔵文化財活用事業〔国庫1/2 1,000千円・松阪市1,000千円〕

埋蔵文化財保護行政への理解を深めるなどの目的で、考古資料を題材にした体験講座を、主に市民対象に実施。

(14) 市町遺跡発掘調査等

① いなべ市 市内遺跡発掘調査等

[国庫 1/2 1,000 千円・県費 1/6 333 千円・いなべ市 667 千円]

平成 16 年度から平成 20 年度まで 5 ケ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を行う。

各年度で順次、合併前の旧市町村の詳細分布を実施。

平成 18 年度は旧北勢町、旧藤原町、旧大安町域の員弁川右岸を中心に踏査を実施。

② 桑名市 市内遺跡発掘調査等

[国庫 1/2 1,000 千円・県費 1/6 333 千円・桑名市 667 千円]

平成 18 年度から平成 20 年度まで 3 ケ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を行う。

平成 18 年度は長島地区(合併前旧長島町)を中心に踏査を実施。

③ 四日市市 久留倍遺跡発掘調査等

[国庫 1/2 7,000 千円・県費 1/6 2,333 千円・四日市市 4,667 千円]

久留倍遺跡の範囲確認調査を実施し、整備計画立案に必要な情報を確認したのち、その保護のための埋め戻しを実施。

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 (㎡)	概要
久留倍遺跡	四日市市 大矢知町	学術調査等	H18.7.4~ H18.7.26	2,150.0	整備計画立案の ための範囲確認 調査の実施
計				2,150.0	

④ 鈴鹿市 伊勢国府跡ほか発掘調査等

[国庫 1/2 2,500 千円・県費 1/6 833 千円・鈴鹿市 1,667 千円]

平成 14 年に伊勢国府跡として国史跡に指定された長者屋敷遺跡の計画調査の実施と、市内遺跡の試掘・本調査の実施により、その保護に努める。

(伊勢国府)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 ㎡	主要遺構・ 遺物	備考
長者屋敷遺跡(21次)	鈴鹿市広瀬町 字西野	学術調査	H18.7.19~ H18.11.23	500.0	溝、土坑、 ピット・瓦、土 師器、須恵 器、山茶碗	方格地割 の範囲確 認調査
計				500.0		

(市内重要遺跡 範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
西ノ野遺跡	鈴鹿市国府町字西ノ野	個人住宅	22.0	遺構・遺物あり
	鈴鹿市国分町	倉庫建設	40.0	遺構・遺物なし
中島遺跡	鈴鹿市柳町	個人住宅	14.0	遺構・遺物あり
椿一の宮遺跡	鈴鹿市椿一の宮字一ノ宮	工場建設	15.0	遺構・遺物なし
小塚遺跡	鈴鹿市西玉垣町字池之下	共同住宅	15.0	遺構・遺物なし
富士遺跡	鈴鹿市平野町尼ヶ橋	集合住宅	27.0	遺構あり・遺物なし
沢遺跡	鈴鹿市西條町字東澤	その他施設	13.0	遺構・遺物あり
三日市東遺跡	鈴鹿市三日市	共同住宅	9.0	遺構・遺物なし
津賀東部遺跡	鈴鹿市高塚町字神垣	個人住宅	18.0	遺構・遺物なし
郡山野遺跡	鈴鹿市郡山町字野口	宅地造成	15.0	遺構・遺物あり

郡山野田遺跡	鈴鹿市郡山町字東大野	宅地造成	134.0	遺構・遺物あり
西ノ野遺跡	鈴鹿市国府町	個人宅	17.0	遺構・遺物あり
	鈴鹿市高岡町	宅地造成	12.0	遺構・遺物あり
計			351.0	

(市内重要遺跡 本調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
平田遺跡(11次)	鈴鹿市弓削	個人住宅	185.5	竪穴住居、掘立柱建物、土坑、井戸・縄文土器、土師器、須恵器、山茶椀
平田遺跡(12次)	鈴鹿市平田本町	個人住宅	151.7	方形周溝墓、掘立柱建物、溝、土坑・縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦、山茶椀、刀子
平田遺跡(13次)	鈴鹿市弓削	個人住宅	101.5	井戸、溝、土坑・土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶椀
平田遺跡(14次)	鈴鹿市平田本町	個人住宅	66.8	竪穴住居、溝、土坑、井戸・土師器、須恵器、山茶椀
平田遺跡(15次)	鈴鹿市弓削	個人住宅	228.7	方形周溝墓、竪穴住居、掘立柱建物、土坑・縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦、山茶椀
平田遺跡(16次)	鈴鹿市弓削	個人住宅	69.4	竪穴住居、掘立柱建物、土坑、溝・埴輪、土師器、須恵器、土馬
平田遺跡(17次)	鈴鹿市弓削	個人住宅	80.0	方形周溝墓、土坑、掘立柱建物、柵、井戸、溝・弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶椀、古瀬戸、刀子
計			883.6	

指導委員

八賀 晋 (三重大学名誉教授) 川越 俊一 (奈良文化財研究所)
 内田 和伸 (奈良文化財研究所) 伊藤 久嗣 (鈴鹿市文化財調査会委員)
 金田 章裕 (京都大学大学院文学研究科教授) 渡辺 寛 (皇學館大學文学部教授)
 和田 勝彦 (東京純心女子大学事務局長)

指導委員会議 平成18年11月1日

⑤ 亀山市 市内遺跡発掘調査等

[国庫 1/2 1,750千円・県費 1/6 583千円・亀山市 1,167千円]

平成17年度から平成21年度の5ヶ年事業で旧関町域の詳細分調査をおこなう。また他に、鈴鹿関跡発掘調査、各種開発事業に伴う確認調査を実施した。

なお、事業地内が「鈴鹿の関」等重要遺跡や「伝統的建造物群保存地区」との重複の関係上指導委員会を設置した。

指導委員

八賀 晋 (三重大学名誉教授) 山中 章 (三重大学人文学部教授)
 佐々木宣明 (亀山市文化財保護審議会委員) 木崎 嘉秋 (亀山市文化財保護審議会委員)

指導委員会議 平成18年6月9日、平成18年9月12日、平成18年10月31日
 (遺跡詳細分布調査)

平成18年度は、大和街道(加太川流域)沿いの加太地区南在家・中在家・北在家・神武及び関地区中心部の新所・中町・木崎及び関地区南部(中の川流域)の萩原・古厩・久我・福富の踏査を実施。

(鈴鹿関跡第一次発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (m ²)	主要遺構・遺物
鈴鹿関跡	亀山市本丸町	学術調査	130.0	築地・重圏文軒丸瓦、丸瓦、平瓦、土師器、須恵器、鞆羽口

(笹ヶ平古墳地形測量)

地域の歴史を考える上で重要な遺跡である笹ヶ平古墳、及びその周辺の地形測量を実施した。

(範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (m ²)	主要遺構・遺物
鈴鹿関想定地・東海道想定地	亀山市関町市瀬、新所	店舗	104.0	遺構・遺物なし
会下A遺跡	亀山市関町会下	その他建物	40.0	遺構・遺物なし
高垣内遺跡	亀山市井尻町	その他開発	34.8	遺構なし・遺物あり
計			178.8	

⑥ 津市 市内遺跡発掘調査等

[国庫 1/2 6,300千円・県費 1/6 2,100千円・津市 4,200千円]

(多気北畠氏遺跡発掘調査)

多気地内の北畠氏関連遺跡の学術調査を実施し、史跡指定にむけての基礎的データを収集した。また、『多気北畠遺跡第28次発掘調査報告』を刊行した。

遺跡名	所在地	原因	面積 (m ²)	主要遺構・遺物
多気北畠氏遺跡第29次調査 (上多気六田地区第3次)	津市美杉町上多気字六田	実態解明の学術調査	419.0	掘立柱建物、土坑、溝・土師器ほか

(市内遺跡範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (m ²)	主要遺構・遺物
寺家遺跡	津市一志町高野	個人住宅	8.0	遺構・遺物なし
若林遺跡	津市庄田町若林	個人住宅	16.0	遺構・遺物なし
古市遺跡	津市白山町古市	個人住宅	16.0	遺構なし・遺物あり
久居城址	津市久居西鷹跡	個人住宅	16.0	遺構あり・遺物なし
計			56.0	

(詳細遺跡分布調査)

平成18年度から平成21年度まで4ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を実施する。

平成18年度は旧香良洲町、旧河芸町を中心に踏査を実施。

(出土遺物保存処理)

薬師谷古墳群、中野山古墳群ほか出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成18年度は耳環、馬具など87点の保存処理を行なった。

⑦ 松阪市 市内遺跡発掘調査等 [国庫 2,750千円・三重県 916千円・松阪市 1,834千円]

市内の重要遺跡の発掘調査および範囲確認調査を実施し、埋蔵文化財保護の基礎データを得た。また、旧飯高町域の詳細分布調査を実施した。

(範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (m ²)	主要遺構・遺物
小野江・甚目遺跡	松阪市甚目町字東浦	宅地造成	20.0	遺構なし・遺物あり
権現角遺跡	松阪市市場庄町字古市	宅地造成	32.0	遺構・遺物あり

方婦多山古墳	松阪市山下町字方婦多	公園造成	135.0	遺構・遺物あり
御殿山遺跡	松阪市嬉野黒野町字林田	その他建物	16.0	遺構なし・遺物あり
南曾原遺跡	松阪市中道町字浜田	住宅	15.0	遺構なし・遺物あり
御堂山遺跡	松阪市西野々町字山森	砂利採取	16.0	遺構・遺物あり
天保遺跡	松阪市嬉野島田町字天保	その他建物	32.0	遺構・遺物なし
前田町屋遺跡	松阪市小野江町	宅地造成	36.0	遺構・遺物なし
舞出北遺跡	松阪市舞出町字松垣内	宅地造成	24.0	遺構なし・遺物あり
小野江・甚目遺跡	松阪市小野江町、肥留町	宅地造成	32.0	遺構・遺物なし
井之尻長井遺跡	松阪市松ヶ島町字大溝	住宅	16.0	遺構・遺物なし
西野田遺跡	松阪市嬉野中川町	その他建物	36.0	遺構なし・遺物あり
道性目遺跡	松阪市嬉野新屋庄町字森目	その他開発	75.0	遺構なし・遺物あり
赤部遺跡	松阪市嬉野新屋庄町字櫻	その他建物	16.0	遺構なし・遺物あり
小津遺跡	松阪市小津町	店舗	14.0	遺構・遺物なし
松阪城跡	松阪市殿町	その他建物	2.0	遺構・遺物なし
伊勢寺遺跡	松阪市深長町字森ノ西	工場	20.0	遺構・遺物なし
那知山遺跡	松阪市田原町字那知山	住宅	8.0	遺構・遺物あり
松阪城跡	松阪市殿町	その他建物	22.0	遺構・遺物なし
脇田遺跡	松阪市大宮田町字大蔵寺	砂利採取	32.0	遺構・遺物なし
小野江・甚目遺跡	松阪市肥留町字フケ	住宅	36.0	遺構・遺物なし
土取古墳	松阪市駅部田町字土取	宅地造成	20.0	遺構・遺物なし
小久保遺跡	松阪市垣鼻町字田尼	住宅	12.0	遺構・遺物なし
鴻ノ木遺跡	松阪市射和町字鴻ノ木	住宅	48.0	遺構なし・遺物あり
松本権現前遺跡	松阪市中林町字荒木	宅地造成	64.0	遺構なし・遺物あり
下之庄東方遺跡	松阪市嬉野中川町字笛吹垣内	その他建物	32.0	遺構・遺物あり
宝塚4号墳	松阪市光町	住宅	36.6	遺構・遺物なし
上り畑遺跡	松阪市保津町字西浦	砂利採取	120.0	遺構・遺物なし
中林・中道遺跡	松阪市曾原町字山ノ越	住宅	98.0	遺構なし・遺物あり
松本権現前遺跡	松阪市中林町	宅地造成	48.0	遺構なし・遺物あり
堂ノ前遺跡	松阪市古井町字堂ノ前	砂利採取	96.0	遺構・遺物なし
貝塚遺跡	松阪市久米町字東吹	道路	24.0	遺構・遺物なし
松本権現前遺跡	松阪市小舟江町字西ノ宮	宅地造成	12.0	遺構・遺物なし
小津遺跡	松阪市小津町字大坪	宅地造成	36.0	遺構なし・遺物あり
鴻ノ木遺跡	松阪市射和町字鴻ノ木	住宅	45.2	遺構・遺物あり
上久米遺跡	松阪市久米町字奥此亦	住宅	32.0	遺構・遺物なし
大西代遺跡	松阪市曾原町字大西代	住宅	32.0	遺構・遺物なし
貝塚遺跡	松阪市久米町字東吹	住宅	32.0	遺構・遺物なし
上村遺跡	松阪市下村町字北浦	住宅	14.0	遺構なし・遺物あり
御堂山遺跡	松阪市西野々町字山森	砂利採取	20.0	遺構・遺物なし
上ノ口遺跡	松阪市上川町字上ノ口	その他建物	12.0	遺構・遺物なし
計			1,468.8	

⑧ 明和町 御館・柳原遺跡ほか発掘調査等

[国庫 1/2 1,000 千円・県費 1/6 333 千円・明和町 667 千円]

遺跡地内における個人住宅の申請に対応し、事前に地下遺構等の実態を把握することで、遺跡保護のデータを収集する。

遺跡名	所在地	原因	面積(m ²)	主要遺構・遺物
斎宮跡 第 151-3 次調査	明和町斎宮広頭	個人住宅	4.0	溝・土師器片
斎宮跡 第 151-4 次調査	明和町斎宮字篠林	個人住宅	92.3	竪穴住居、ピット、溝・土師器、須恵器
斎宮跡 第 151-5 次調査	明和町竹川字東裏	個人住宅	56.7	溝・遺物なし
斎宮跡 第 151-6 次調査	明和町竹川字東裏	個人住宅	65.0	土坑、ピット・遺物あり
斎宮跡 第 151-9 次調査	明和町斎宮字牛葉	農業関係	4.2	遺構・遺物なし
斎宮跡 第 151-10 次調査	明和町斎宮字東加座	その他建物	8.0	溝、ピット・土師器、須恵器
斎宮跡 第 151-11 次調査	明和町斎宮字葉山	宅地造成	92.0	遺構・遺物なし
古堀遺跡 第 2 次調査	明和町上野字古堀	宅地造成	192.0	竪穴住居、土師器焼成坑、ピット、溝・土師器、須恵器、刀子、土馬
計			514.2	

2 県費単独補助事業

(1) 建造物保存修理事業

① 旧諸戸家住宅部分修理(桑名市) [H8. 3. 7 指定]

事業概要 旧高須御殿の腐食した土台部分の部材を交換し、傾きを修正する。
 18年度事業 既設置撤去、腐食材取替え、大引・土台レベル調整など。
 事業費 3,033 千円 (県 50% 1,500 千円)
 工事請負 清水建設株式会社名古屋支店三重営業所

② 白山比咩神社八幡社須賀ほか保存修理(白山比咩神社・白山町) [S32. 3. 29 指定]

事業概要 八幡社須賀社、祖霊社 2 棟などの破損化が進行、解体修理。
 (平成 15 年度～)
 18年度事業 解体工事、基礎工事、木工事、屋根工事など。
 事業費 27,500 千円 (県 50% 13,750 千円)
 設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会
 工事請負 株式会社中建築工務店

③ 経蔵部分修理(寂照寺・伊勢市) [S27. 3. 13 指定]

事業概要 全体計画 平成 16 年度から 21 年度まで経蔵の半解体修理を行う。
 18年度事業 補修箇所の解体工事、木工事、屋根・鍍金工事等。
 事業費 13,060 千円 (県 50% 6,530 千円)
 工事監理 株式会社林廣伸建築事務所
 工事請負 株式会社廣垣工務店

- ④ 入交家住宅保存整備事業報告書作成(伊賀市) [H10. 3. 17 指定]
事業概要 入交家住宅保存整備事業の報告書を作成する。
事業費 3,600 千円 (県 50% 1,800 千円)
委託業者 財団法人 文化財建造物保存技術協会

(2) 有形文化財保存修理事業

- ① 木造諸尊仏龕部分修理(寂照寺・伊勢市) [H16. 3. 17 指定]
事業概要 漆塗装面の剥落止め、木質・金具補強の応急修理。
事業費 153 千円 (県 50% 76 千円)
工事請負 財団法人美術院
- ② 木造二天立像保存修理(勝因寺・伊賀市) [H16. 3. 17 指定]
事業概要 吽形像足ホゾ割損。像の自立補助のため、框新造、応急修理。
事業費 313 千円 (県 50% 150 千円)
工事請負 愛知仏像修復工房

(3) 有形民俗文化財保存修理事業

- 春日神社雨乞願解大絵馬 (春日神社・伊賀市) [H11. 3. 17 指定]
事業概要 春日神社雨乞願解大絵馬のうち、春日神社境内図 1 点の保存修理
事業費 1,256 千円 (県 50% 625 千円)
工事請負 株式会社京都科学

(4) 史跡等保存整備事業

- 大日堂の五百羅漢 保存修理 (菰野町竹成区) [S42. 2. 10 指定]
事業概要 史跡内に設置された 469 体の石製羅漢像について、クリーニング・強化材の塗布・破損部分の修復を行う。(平成 14 年度～22 年度)
18 年度事業 60 体の修理作業を行った。
事業費 3,000 千円 (県 50% 1,500 千円)
工事請負 株式会社 アクト

(5) 斎宮跡体験学習施設維持管理

- いつきのみや歴史体験館・1/10 斎宮跡史跡全体模型維持管理費(明和町)
事業費 19,812 千円 (県 19,812 千円)

(6) 天然記念物再生事業

- ① 長太の大クス [S38. 1. 11 指定]
事業概要 土壌改良等による樹勢回復
事業費 445 千円 (県 222 千円)
受託者 伊藤造園建設株式会社
- ② 川俣神社のスダジイ [S44. 3. 28 指定]
事業概要 枯損枝等の除去による樹勢回復
事業費 214 千円 (県 107 千円)
受託者 木楽 Nakamura

3 県費（国間接）補助事業

(1) 指定文化財管理事業

町井家住宅建造物小修理(個人・伊賀市) [S50. 6. 23 指定]
事業概要 主屋、書院の殺虫（くん蒸）。
事業費 247 千円（県 50% 122 千円）
請負者 中部資材株式会社四日市支店

4 活かそう地域文化提案事業

(1) 事業概要

活かそう地域文化提案事業は、平成18年度に創設した補助事業である。地域からの様々な文化財を介した活動提案に対して、これを認証し、活用事業と文化財の修復（保存事業）とをあわせて支援するもので、県民が文化財をより身近に感じ、親しみをもって活かすことができるように取り組むことを主旨とした。

事業は、地域の精神的な拠り所となってきた文化財を見直し、再生や活用を図るため、事業者を中心として地域住民・NPOなどが行う自主的な活動を支援するとともに、文化財の修復にも補助を行うもので、実施方法は下記によった。

ア 文化財の活用に関する自主的で具体的な補助事業案を、所有者・地域住民・NPOなどが申請書にまとめる。また文化財の保存事業についても、所有者や管理団体が補助事業案として申請書にまとめる。市町の教育委員会は、2つの申請書を一对の事業としてまとめ、県教育委員会に対して事業提案する。

イ これらの中から、文化財の修復や活用などを契機として、伝統文化が復興する等、伝統的な地域のまとまりや郷土愛が強まるような提案を、活かそう地域文化提案事業認証委員会で審査し、「みんなの文化財」として認証する。

ウ 認証した事業には、活用などの活動を支援するとともに、損傷や老朽化が進んで公開や活用が困難となっている当該文化財の修復にも補助を行う。

事業費（活用事業・保存事業）

11,180 千円（県 50% 県費支出額 5,590 千円）

期待される効果

ア 保存事業と活用事業を一对の事業と位置づけ、所有者や地域住民が文化財の保存修理だけでなく活用事業にも取り組むことにより、地域における文化財に対する愛護意識が高まる。

イ 活用事業においては、文化財の理解を深めるための普及事業のほか、世代間交流や次世代育成などに効果的な事業の実施により、文化財への理解と愛着、地域の活性化、地域への愛着がもたらされ、地域づくりに発展する取組が盛んになる。

(2) 認証委員会

認証委員会は、市町より提案された保存と活用の各事業について、事業化の可否を審査するために設置した。提案された各事業内容が、「活かそう地域文化提案事業」の趣旨に合致するものであれば、文化財保護室長に対し、その評価・認証について建議するとともに、専門的見地から事業にかかる指導・助言も行った。

委員は、下記の a から f の項目を専門分野とする有識者の中から 5 名以内で選び、文化財保護室長が委嘱した。

a 有形文化財の保存と活用

- b 埋蔵文化財の保存と活用
- c 史跡・名勝・天然記念物の保存と活用
- d 文化財保存と活用にかかる教育活動
- e 町おこしなどの地域活性化や人材育成の推進を目的とした活動
- f 観光政策と広報活動 など

平成18年度活かそう地域文化提案事業 認証委員会委員

八賀 晋	三重県文化財保護審議会会長
名越 誠	三重県文化財保護審議委員
菅原 洋一	三重県文化財保護審議委員
平井 俊圭	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会福祉サービス利用支援部長
橋爪 貴子	NPO法人五十鈴塾理事

(3) 指定文化財等活用・保存事業

ア 平成18年度事業実績

提案件数	認証件数	提案者数	活用 事業者数	保存 事業者数	活用・保存事業の差異 は、3つの関連事業を 一体化して活用事業を 実施したことによる。
20	20	12 (9市 3町)	18	20	

イ 平成18年度補助事業

整理 番号	補助事業者 (上段：活用事業 /下段：保存事業)	補助事業名 (上段：活用事業 [事業額・県費補 助額] /下段：保存事業)	事業内容 (上段：活用事業 /下段：保存事業)
1	神宮徴古館農業館 館長 堀川宗晴	重文 神宮祭主職舎本館 (旧慶光院 客殿) 建造物防災施設 活用事業 [事業額105千円、県補助額50千円]	神宮徴古館において、慶光院関係 資料を特別公開した。
	宗教法人 神宮 代表役員 北白川道久	重文 神宮祭主職舎本館 (旧慶光院 客殿) 建造物防災施設 保存事業	放水銃4基、野外消火栓5基等、 消火・警備・通報の各設備の充実。
2	宗教法人 普賢寺 代表役員 中出浩	重文 木造普賢菩薩坐像 美術工芸 品保存修理活用事業 [事業額100千円、県補助額50千円]	普賢菩薩坐像に関する案内パンフ レットの作成。地元での講和・町 郷土学習会への協力。
	宗教法人 普賢寺 代表役員 中出浩	重文 木造普賢菩薩坐像 美術工芸 品保存修理 保存事業	台座の白象座の剥落止めを行い、 台座の心棒の受けを強固にし像を 安定させるとともに、細部の腐食 補修と部材の安定化を図った。
3	神宮徴古館農業館 館長 堀川宗晴	重文 角屋家貿易関係資料 美術工 芸品保存修理 活用事業 [事業額100千円、県補助額50千円]	神宮徴古館常設展特集「重要文化 財 角屋家貿易関係資料公開」を 企画・開催した。
	宗教法人 神宮 代表役員 北白川道久	重文 角屋家貿易関係資料 美術工 芸品保存修理 保存事業	当該資料のうち御朱印旗は、傷み が著しく展示も困難であるため、 資料の補修を行い、あわせて保存 管理用の専用箱 (展示も可能) を 作成した。

4	児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業 実行委員会 代表 廣澤浩一	史 上野城跡 史跡等・登録記念物 保存修理活用事業 [事業額175千円、県補助額29千円]	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリー入場券を配布し、上野城跡・旧崇廣堂・入交家住宅等を保護者とともに見学する機会を設けた。
	伊賀市	史 上野城跡 史跡等・登録記念物 保存修理保存事業	台所門西部の石垣裾部等の発掘調査や、表門付近の石垣の測量を実施した。
5	古代体験イベント 実行委員会 会長 粕谷忠	史 天白遺跡 史跡等・登録記念物 保存修理 活用事業 [事業額120千円、県補助額50千円]	天白遺跡で縄文土器製作体験を実施し、天白遺跡周辺の縄文土器プランターの作成を行った。
	松阪市	史 天白遺跡 史跡等・登録記念物 保存修理 保存事業	国指定を受けた土地の公有化、発掘調査等を実施。昨年度の遺構の保存処理に引き続き、本年度は配石遺構の保存処理を行った。
6	財団法人 国史跡 齋宮跡保存協会 理事長木戸口眞澄	史跡 齋宮跡 史跡等・登録記念物 保存修理 活用事業 [事業額205千円、県補助額100千円]	地域住民の協力による、北野地内の整備事業地及び齋宮駅北側の公有地への植栽と管理。
	明和町	史跡 齋宮跡 史跡等・登録記念物 保存修理 保存事業	側溝の延長および盛土整地工事、防犯灯、トイレ、ベンチ、案内板などの設備を設置した。
7	財団法人 国史跡 齋宮跡保存協会 理事長木戸口眞澄	史跡 齋宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）活用事業 [事業額432千円、県補助額150千円]	いつきのみや歴史体験館の館内で実施の平安時代の観月会の再現（雅楽や舞や観月の儀等）に加え、屋外の史跡整備地では、現代の月を楽しむ会を開催した。
	明和町	史跡 齋宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ） 保存事業	近鉄線路北側、齋王の森を中心に東西約51haを対象に公有化を実施。本年度は、2,355㎡を買収した。
8	財団法人 諸戸会 理事長 諸戸精孝	名 諸戸氏庭園 史跡等・登録記念物 保存修理 活用事業 [事業額79千円、県補助額28千円]	国の名勝指定された諸戸氏庭園に講師を招き、江戸から昭和の庭園の見方、歩き方のポイントを解説しながら散策を行った。
	財団法人 諸戸会 理事長 諸戸精孝	名 諸戸氏庭園 史跡等・登録記念物 保存修理 保存事業	庭園内の灯籠を調査し、特に破損の著しい3基について、表面に付着した腐食物質を洗浄し、石材強化の薬剤を含浸させ、欠損部分を復元した。
9	児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業 実行委員会 代表 廣澤浩一	史 旧崇廣堂 史跡等・登録記念物 保存修理 活用事業 [事業額175千円、県補助額29千円]	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリー入場券を配布し、上野城跡・旧崇廣堂・入交家住宅等を保護者とともに見学する機会を設けた。
	伊賀市	史 旧崇廣堂 史跡等・登録記念物 保存修理 保存事業	漆喰壁にひびが確認されるようになった中土塀を修理した。

10	十社小学校親師会 会長 川瀬敦	天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 活用事業 [事業額100千円、県補助額50千円]	十社小学校の児童とその保護者により、地元河川での観察会や勉強会を実施し、川に親しみ身近に生息する天然記念物ネコギギを中心に希少な生物や環境について学んだ。一部は、小学校の総合学習に併せて実施した。
	いなべ市	天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 保存事業	河川における生息状況や生息環境の調査を行い、問題点の明確化と改善策の検討を行った。また、現在飼育中の個体とこれらを捕獲した河川で新たに捕獲された個体を親魚とし、人為管理下で保護増殖を行った。
11	関宿案内ボランティアの会 会長 岩間俊彦	重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群 保存地区 重要伝統的建造物群保存 地区・保存修理 活用事業 [事業額34千円、県補助額17千円]	案内ボランティアの会広報誌において、保存修理事業を実施した伝統的建造物を紹介する特集記事を掲載するとともに、事業が完了した建造物を中心に案内を行う町並み見学会を開催した。
	亀山市	重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群 保存地区 重要伝統的建造物群保存 地区・保存修理 保存事業	選定地区には、環境・景観を阻害している建物のほか、雨漏りや破損の大きい建物が多く存在する。本年度は、そのうち9件について、保存修理修景事業を行った。
12	久留倍遺跡を考える会 会長 古市徹郎	久留倍遺跡発掘調査等 活用事業 [事業額409千円、県補助額200千円]	「国史跡指定久留倍官衙遺跡シンポジウム」とパネル展の開催。 平成18年11月26日(日)午後1時～4時30分 あさけプラザ(四日市市下之宮町)
	四日市市	久留倍遺跡発掘調査等 保存事業	遺跡の整備計画を立案するにあたり、政庁の位置付けを行うため、政庁区画内の建物確認(遺構検出)と、政庁西側の区画溝の掘り下げを行った。調査面積は2,150㎡(荒地・雑木林)で、平成15年度に調査した約5,000㎡を含めて埋め戻しを行った。
13	倭地区伝統文化保存会 会長 中西正治	白山比咩神社八幡社須賀社ほか保存 修理 活用事業 [事業額366千円、県補助額180千円]	地域に伝わるかんこ踊りや神楽を地域に紹介し、伝統芸能の復活継承や担い手の拡大などを図った。修復事業に関する案内パンフレット等を作成し、地域住民や見学者に保存修理事業と白山比咩神社にかかる民俗芸能などを紹介した。
	宗教法人 白山比咩神社 代表役員 谷秀志	白山比咩神社八幡社須賀社ほか保存 修理 保存事業	建物の老朽化に伴う本殿の解体・修理

14	宗教法人 寂照寺 代表役員松山宜弘	経蔵部分修理 活用事業 [事業額219千円、県補助額108千円]	経蔵の修理について現場見学会を行うとともに、月僊上人や経蔵に関する歴史的な説明を聴いた。また、文化財を紹介するパンフレットを作成した。
	宗教法人 寂照寺 代表役員松山宜弘	経蔵部分修理 保存事業	土台の腐食が激しく内部回転式輪蔵が動かない状態となり、全体の重みで壁面が圧迫され、各所に膨らみが生じていた。本年度は、軸部修理・屋根瓦葺き替えを行った。 (継続事業)
15	竹成区 区長 伊藤良信	大日堂境内の五百羅漢 活用事業 [事業額149千円、県補助額70千円]	区民総出で五百羅漢境内の雑草等の刈取りなどの清掃活動を行った。また、講師を招き五百羅漢について学習した。地元の竹永小学校から参加者を募り、写生大会を開催し、優秀作品を表彰するとともに、全作品を展示した。
	竹成区 区長 伊藤良信	大日堂境内の五百羅漢 保存事業	風化しやすい花崗岩製の五百羅漢を洗浄し、強化材の塗布によるコーティングを行った。また、破損部分やセメントによる接合部分の修復・復元した。
16	児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業 実行委員会 代表 廣澤浩一	入交家住宅保存整備事業報告書作成 活用事業 [事業額175千円、県補助額29千円]	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリー入場券を配布し、上野城跡・旧崇廣堂・入交家住宅等を保護者とともに見学する機会を設けた。
	伊賀市	入交家住宅保存整備事業報告書作成 保存事業	入交家住宅保存整備事業にかかる報告書作成及び刊行。
17	南長太第一自治会 代表者 杉野博祥	長太の大クス 天然記念物再生 活用事業 [事業額31千円、県補助額15千円]	他地域も含む市民ボランティアを募っての除草作業、樹木医講師による説明会・学習会を開催した。
	宗教法人須伎神社 代表役員 田中尚	長太の大クス 天然記念物再生 保存事業	健全な樹勢回復のための処置として、大クス樹冠下を26箇所に区画し、溝を掘り、土壌改良材を混合して埋め戻した。今年度は13ヶ所を実施した。
18	宗教法人春日神社 代表役員神田信忠	春日神社雨乞願解大絵馬保存修理 活用事業 [事業額41千円、県補助額20千円]	平成17年度に修復を完了した「春日神社雨乞願解大絵馬附相撲板番付」について、チラシを作成し、文化財としての普及・啓発にあたった。
	宗教法人春日神社 代表役員神田信忠	春日神社雨乞願解大絵馬保存修理 保存事業	保存状態の悪い絵馬についてクリーニングを行い、虫蝕孔等の充填箇所には補彩等の作業を行った。本年度は「春日大社境内図」を対象とし、剥離止め、虫蝕孔への充填・補彩を行い、修復後はガラスケースに収納した。

19	桑名の千羽鶴を広める会 代表 高木文子	旧諸戸家住宅 部分修理 活用事業 [事業額79千円、県補助額28千円]	わが国の建築素材や伝統文化に大きな恩恵を与えてきた和紙に関する講演会と、和紙を利用して江戸時代から桑名市に伝わる「桑名の千羽鶴」の講習会を開催した。
	桑名市	旧諸戸家住宅 部分修理 保存事業	外部においては、土台の腐食による建物の傾き（妻面[南北]方向）と外部壁（北側の杉板張り）の膨らみ、内部においては塗り壁仕上げの剥離と損傷、床天井や敷居の腐食や虫食い等の補修を行った。
20	宗教法人 専修寺 代表役員生柳久光	重文 専修寺御影堂及び如来堂 建 造物防災施設 活用事業 [事業額43千円、県補助額21千円]	津市消防署の協力を得て、高田本山で毎年行っている文化財防火訓練後に地域住民へ防火意識を高揚する為の講演会を開催した。また、地区の児童・生徒に地域の文化財を通じて地域文化の大切さを訴えるものとして、文化財ポスターを募集した。応募されたポスターは、審査後、高田青少年会館にて公開した。
	宗教法人 専修寺 代表役員生柳久光	重文 専修寺御影堂及び如来堂 建 造物防災施設 保存事業	初期消火設備の経年劣化に伴う機器及び配管等の更新。消火栓設備では当該施設で使用する消火水槽の貯水を十分利用できるような補強した。さらに各放水銃に小型消火栓を併設し機動性のある初期消火機能を強化した。自動火災報知設備では多くの建物が存在していることから受信盤をR型に変えた。

活用事業内容の詳細については、『平成18年度活かそう地域文化提案事業実績報告集』を参照されたい。

5 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業について、市町教育委員会の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

- (1) 文化財保護のための事業（財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団）
寂照寺（伊勢市） 助成額 1,000千円
経蔵の部分修理
- (2) 伝統文化活動支援事業（財団法人 伝統文化活性化国民協会）
下稲葉かんこ踊り保存会（津市） 助成額 190千円
太鼓張り替え
- (3) 地域文化活動事業助成（財団法人 沖永文化振興財団）
下野尻自治会（いなべ市） 助成額 120千円
下野尻春日神社奉納獅子舞保存伝承事業・獅子舞の技能伝承と用具の修理

IV 世界遺産熊野古道保存管理

1 世界遺産熊野古道保存管理事業

(1) 平成18年度事業概要

平成16年7月7日に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の良好な保全管理のため、文化庁、奈良・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。主要事業としては、平成22年1月にユネスコ世界遺産委員会から提出が求められている「保全状態の測定にかかる指標（モニタリング調査）」のうち、平成18年内の調査集約があげられる。

(2) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が登録資産の保存と管理及び活用を推進するため平成17年度に設置された。三県協議会は、同設置要綱（平成17年5月19日施行）により、会長、副会長、委員及び監事をもって組織されている。前年度に引き続き、会長に和歌山県知事、副会長に奈良県・三重県知事の就任が互選された。なお、事務局は和歌山県（文化遺産課）に置かれた。

三重県における委員及び監事の構成は以下とおり。

副会長	委員			監事	
野呂昭彦 三重県知事	安田敏春 三重県教育長	坂野達夫 三重県政策 部東紀州対 策局長	河上敢二 熊野市長	小倉 肇 紀北町教育長	前川耕一 三重県教育委員会 生涯学習分野総括 室長

② 三県協議会の開催

平成18年5月24・25日に、三重県営サンアリーナ（伊勢市）を会場に開催された。議事は平成17年度の事業報告・決算・監査報告・三県協議会設置要綱改正（組織名変更による）にかかる議決、および平成18年度事業計画・予算案が協議された。事業計画としては、ユネスコ世界遺産委員会への提出が義務付けられている「保全状態の測定にかかる指標（モニタリング調査）」の継続実施、専門委員会の運営、三県連携による世界遺産の保全と活用の取組として、教育普及活動や広報活動を行うことが確認された。

また、日本イコモス国内委員会理事の稲葉信子氏による講演「『紀伊山地の霊場と参詣道』保存管理計画について」では、国外における世界遺産の保存管理を紹介しながら、登録後の管理が極めて重要であること、そのための、三県連携による組織運営体制確立の必要性が改めて説かれた。

平成18年度三県協議会決算

収入	支出	繰越金	収入のうち三重県負担額
1,651,409円	1,013,481円	637,928円	88,000円

(3) 県内の保存管理体制の整備

① 三重県世界遺産保全推進協議会

三県協議会と連携して熊野参詣道（伊勢路）の保存と活用に取り組むため、三重県教育長及び大紀町・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の教育長を委員とする「三重県世界遺産保全用推進協議会」が構成されている。また、史跡等の保護のため、本協議会の下に「三重県世界遺産活用協議会幹事会」を設置し、文化財保護法に基づく史跡等の保護に万全を期

する体制を布いている。18年度は上記協議会の開催は行わなかったが、事務連絡会議は、合計8回開催し、当該6市町教育委員会との連絡・協議に万全を期した。

(4) 保存事業

① 世界遺産の「保全状態の測定にかかる指標」(モニタリング調査)

ユネスコ世界遺産委員会は、世界遺産一覧表に登録された遺産の価値を維持するため、世界遺産条約締結国内の世界遺産の保全状態等について定期的に報告を行うことを、第22回世界遺産委員会(平成10年)において採択している。

これは、世界遺産条約第29条に基づき、世界遺産を保有する国が、世界遺産条約を適用するためにとった立法措置、行政措置や他の行動に関する定期報告で、「紀伊山地の霊場と参詣道」については推薦後から平成21年12月末までの期間が対象となっている。

平成18年度は、文化庁より指示のあった報告様式「保全状態の測定にかかる指標」に基づき、各関係市町村教育委員会を支援し、平成18年1月～同年12月末までの集約を完了した。

なお、世界遺産委員会へ提出する報告書及び提出時期は下記のとおりである。

《報告書》

- ・セクションⅠ「締約国における世界遺産条約の適用」……セクションⅡをもとに国(文化庁)が作成。
- ・セクションⅡ「特定の世界遺産物件の保全状態」……管理する府県が、市町及び団体等と協働で作成。

《対象期間》

登録推薦後(平成15年1月～平成21年12月末)

《提出期限》

- ・第1回提出/平成21年2月末日
「セクションⅡ」の報告書の原案(和文)、「保全状態の測定にかかる指標」等
- ・第2回提出/平成21年4月末日
「セクションⅡ」の報告書の原案(和文)、「保全状態の測定にかかる指標」等
- ・第3回提出/平成21年7月末日
「セクションⅡ」の提出文書(英文)、「保全状態の測定にかかる指標」(英訳不要)等

② 危機管理マニュアル策定の支援

昨年度に策定した「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』保存管理計画」に基づき、世界遺産来訪者のための危機管理について、管理団体として指定されている市町毎でのマニュアルを策定するべく支援した。また、文化財部局以外との連携を伴う危機管理マニュアルの作成について、主管する県政策部東紀州対策局東紀州対策室との協議を行った。

(5) 活用事業

① パンフレット『熊野参詣道(伊勢路)と“文化的景観”』の作成

世界遺産登録の大きな要因であった「文化的景観」の意味を広く知らしめるため、当該パンフレットを作成した。内容は、文化的景観の意味や観点のほか、森林施業との関係やなどを説明している。発行部数は10,000部で、登録資産のある東紀州6市町の教育委員会関係施設のほか、県内小中学校、県立学校など各所に配布した。

② 座談会「文化的景観から見た熊野古道」の開催

世界遺産の保全と活用をより一層推進するため、当資産に対する評価の中心となっている

「文化的景観」に関する認識深化を図る必要がある。そのため、世界遺産の保全・活用に直接関わる関係者を対象に、文化的景観に関する研修の場を設定した。

なお、当会の開催にあたっては、いずれも日本イコモス国内委員会・東紀州地域活性化事業推進協議会と共催の形態を取った。

- 第1回 平成18年7月30日 御浜町庁舎くろしおホール 参加者 45名
 講師；赤坂信（千葉大学助教授）、助言者；伊藤延男（神戸芸術工科大学名誉教授）
 演題「森林景観をどう見るか」
- 第2回 平成19年3月18日 三重県立熊野古道センター 参加者 51名
 講師；堀繁（東京大学教授）、助言者；前野堯（日本イコモス国内委員会委員長）
 演題「景観を用いた地域資源の保全と活用」

③ 「副読本 熊野古道の世界遺産」の策定・検討

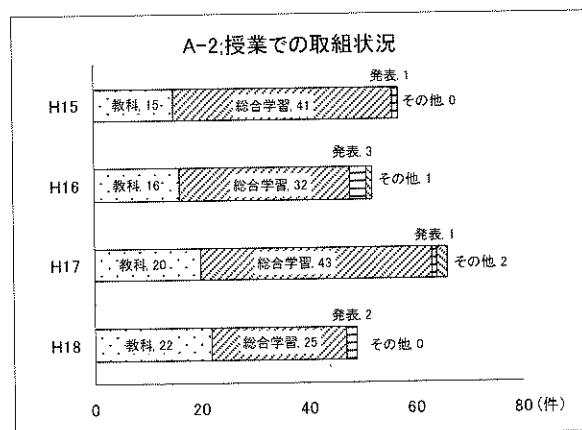
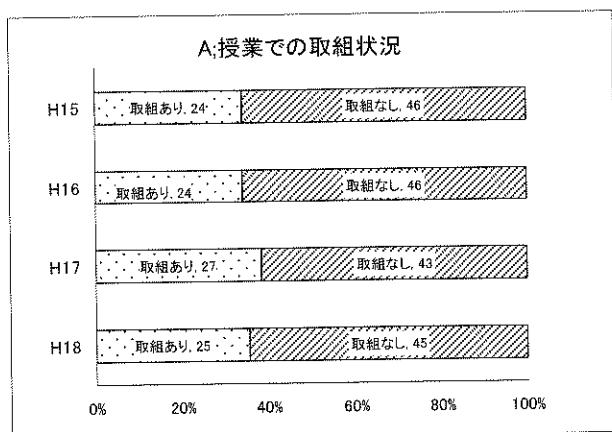
当資産の価値を後世に継承していくことを目的とし、小中学校用の副読本作成のための検討を行った。実施にあたっては、策定検討委員会と作業部会を設置した。策定検討委員会は研究・検討の場とし、作業部会は作成の実務にあたるものとした。策定検討委員会は2回、作業部会は4回実施した。

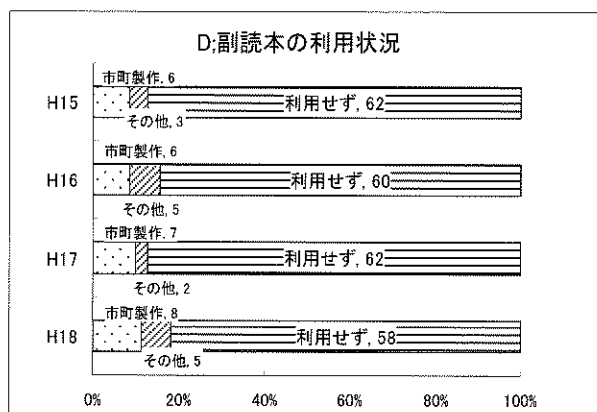
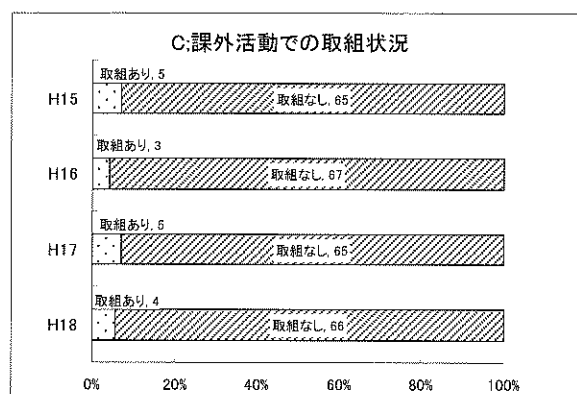
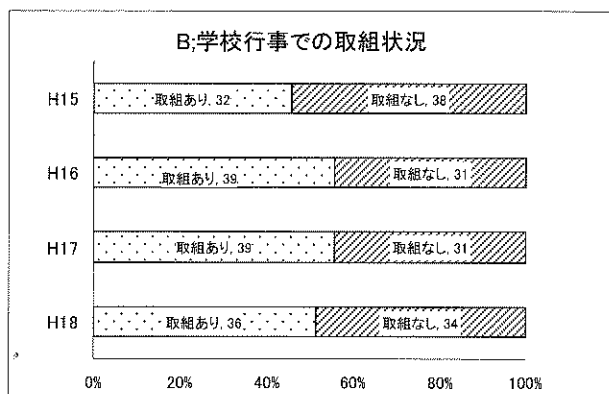
なお、当事業の半ばに、平成19～21年度事業として副読本『郷土三重』（主管課；県教育委員会事務局小中学校教育室）の製作が決定したため、熊野古道に関する副読本についても、次年度以降は『郷土三重』の一部として編集されることになった。

<策定検討委員> 県教育委員会生涯学習分野総括室長、文化財保護室長、生涯学習室長、小中学校教育室長、研修支援室長、三重県小中学校長会長、県政策部東紀州対策局東紀州活性化事業推進特命監、東紀州活性化事業推進協議会事務局長、みえ熊野学会運営委員長

<作業部会> 倉田貴彦（県小中学校教育室）、飯柴雅己（県生涯学習室）、辻喜嗣（県研修企画室）、森川貴司（津市立黒田小学校）、小西正弘（紀北町立上里小学校）、中井克佳（紀北町立赤羽中学校）、和田利信（熊野市立井戸小学校）、森政之（県東紀州対策室）、宮原優・三石学（東紀州地域活性化事業推進協議会）

これらの検討と併行して、東紀州6市町（大紀町・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町）管内の小中学校に、世界遺産を教材とした学校での取組実態を知るためにアンケート調査を実施した。





管内の小中学校71校のうち、70校から回答があり、それを集約したのがA～Dのグラフである。素数は、A-2は学級数の積み上げ、他は学校数である。Dのみ複数回答の数値となっている。

全体に、大紀町・紀宝町の取組は今のところ希薄であり、紀北町・尾鷲市・熊野市での取組がとくに活発であるといえる。

グラフAおよびA-2は、授業での取組を示している。総合学習での取組が最も多い。教科としては社会科が多いが、なかには体育（創作ダンス）、国語（古道をテーマとした短歌・俳句）、理科（環境調査）、図工（写生）、音楽（合奏）などを実施している学校もある。

グラフBは、学校行事での取組をしめしており、主に遠足での活用が見られる。この他では、創作ダンス、PTA活動と連携した行事（古道の清掃活動など）も見られるが、件数は少ない。

グラフCは、課外活動での取組を示している。何らかの活動を行っているのは、全体の5%程度と少ないが、パソコンクラブでの映像作成や、育成会との合同行事（歩こう会）などの取組がある。

グラフDは、教材として副読本がどの程度利用されているのかを見たものである。何らかの副読本を利用している学校は全体の20%程度であるが、それでも年々増加している傾向は窺える。ただし、市町で作成した副読本があるにもかかわらず利用していない学校も多い。副読本の位置づけや、利用方法の提示といったソフト面でのケアが必要と考えられる。

県教育委員会として作成する副読本は、以上のような現状を踏まえた位置づけが必要である。

- ④ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出の受理
「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用については、使用届出書の提出を必要としており、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会名での届出受領書を発行している。

なお、平成18年度の届出受領書の発行は5件で、内訳は以下のとおり。

刊行物（旅行パンフレット等）：4件　その他：1件

2 熊野古道集客交流推進事業（県政策部東紀州対策局からの執行委任）

(1) 平成18年度事業概要

平成19年2月10日にオープンを迎えた三重県立熊野古道センター（以下、「古道センター」）整備事業に伴い、県政策部東紀州対策局から執行委任を受けた。これに伴い、古道センター建設準備のための事業を行った。

(2) 熊野古道センター研究・保存機能整備活用委員会の開催

古道センター展示棟・研究収蔵棟では、研究および保存機能が必要とされていた。当委員会は平成16年度から開催され、平成18年度は合計3回開催した。内容は、古道センターの資料収集、常設展示に関するもののほか、今後の運営に関する課題などを整理した。以下で、委員と開催日時を示す。

<委員>

石原義剛（海の博物館館長、委員長）、稲葉信子（独立行政法人東京文化財研究所国際企画情報研究室長）、小倉肇（紀北町教育長、副委員長）、櫻井治男（皇學館大学教授）、武田明正（三重大学名誉教授）、塚本明（三重大学教授）、西山克（関西学院大学教授）、花尻薫（三重県文化財保護指導委員）、速水亨（速水林業代表）、三石学（東紀州地域活性化事業推進協議会）

<委員会>

平成18年度 第1回 平成18年4月21日（金）於；三重県立美術館

第2回 平成18年6月30日（金）於；三重県熊野庁舎

第3回 平成19年2月 9日（金）於；三重県立熊野古道センター

この他、古道センター特別展示室について、文化庁および独立行政法人東京文化財研究所との諸調整を実施している。

(3) 熊野参詣道石段・石畳学術調査

古道センターの学術資料収集、および古道センター駐車場から多目的交流棟・展示棟に至る歩道に石畳道を復元するため、熊野参詣道（伊勢路）を中心に現存する石段・石畳の学術調査を実施した。この事業は平成17年度からの継続事業として実施した。

平成17年度は、アジア航測株式会社と委託契約を締結し、沿線の石段・石畳道11地点を選定し、写真測量によるデジタル図化を実施した（委託金額4,620千円）。

平成18年度は、前年度にデジタル図化した以外の7地点に配置した測量基準点をもとに、手書き実測と全体の報告書作成を実施した。報告書は、三重県・三重県教育委員会編『熊野古道と石段・石畳』として刊行した（印刷経費317千円）。

なお、印刷費用は、熊野古道集客交流推進事業費と世界遺産熊野古道保存管理事業費から折半している。

V 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類登録審査会

- ・目的 銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

- ・開催期日

5月23日 県庁舎会議室 8月22日 県庁舎会議室

11月7日 県尾鷲庁舎会議室 1月23日 県庁舎会議室

- ・新規登録 刀剣類 239件 銃砲類 16件 登録件数累計 51,230件

- ・登録証再交付 刀剣類 15件 銃砲類 1件

- ・製作承認 刀剣類 0件

- ・所有者変更 刀剣類 429件 銃砲類 21件

- ・登録審査委員（五十音順）

東 敏平（日本美術刀剣保存協会 三重県支部）

菊本 和男（元三重県警警察官）

早川 繁一（日本美術刀剣保存協会 三重県支部長）

東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会 三重県支部）

福井 款彦（日本美術刀剣保存協会 三重県副支部長）

(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

- ・目的 天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

- ・日時 平成18年9月3日（日）

- ・場所 道の駅「パーク七里御浜」（御浜町阿田和）

- ・審査員 秦 正武（社）日本犬保存会参与審査員・同三重支部顧問

久保 隆（社）日本犬保存会審査員・同三重支部顧問

中谷 和生（社）日本犬保存会審査員・同三重支部長

- ・登録日本犬

	登録日	登録番号	犬名	性	所有者住所
1	H18.10.10	737	弓の幸女	雌	熊野市
2	H18.10.10	738	飛郷ノ昇竜	雄	熊野市
3	H18.10.10	739	仁龍	雄	南牟婁郡紀宝町
4	H18.10.10	740	小雪姫	雌	南牟婁郡御浜町
5	H18.10.10	741	魁斗	雄	熊野市
6	H18.10.10	742	清峰	雄	南牟婁郡御浜町
7	H18.10.10	743	邑苑の白梅	雌	鈴鹿市
8	H18.10.10	744	海喜	雄	南牟婁郡御浜町
9	H18.10.10	745	五条徳女	雌	南牟婁郡御浜町
10	H18.10.10	746	貴美	雌	熊野市

(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

- ・目的 天然記念物日本鶏の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会の審査を経て、保存の必要を認められた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。
- ・日時 平成18年5月27日(日)
- ・場所 斎宮歴史博物館駐車場東側(多気郡明和町竹川503番地)
- ・審査員 大川 一彦(全国日本鶏保存会幅審査員・天然記念物三重県日本鶏保存会事務局長)
河村 逸彦(全国日本鶏保存会参与・同審査員)
富田 靖男(元三重県立博物館長)
萬野 利亮(全国日本鶏保存会会員・三重県日本鶏保存会審査員)
佐々木健二(三重県科学技術振興センター畜産研究部研究員)
- ・登録日本鶏

	登録日	登録番号	鶏種	内種	性	所有者住所
1	H18.6.22	939	小国鶏	白藤種	番	津市
2	H18.6.22	940	地鶏	猩々種	番	伊勢市

2 文化財の管理

(1) 文化財パトロール

- ・事業の概要 県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、毎月、文化財保護室に報告される。文化財保護室では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。
- ・巡視報告 各委員による巡視活動の結果は次掲のA表のとおりである。その中で特に指摘のあったものをB表に示した。種別については「建：建造物」「彫：彫刻」「絵文：絵画文書」「考：考古資料」「有民：有形民俗文化財」「史：史跡」「天：天然記念物」「埋：埋蔵文化財」と略記した。

A：パトロール実施状況一覧

地区	市町村	建造物	彫刻	絵画文書	考古	民俗	史跡	天然記念物	埋蔵	計
北勢	桑名市						5	4	32	41
	木曾岬町						1			1
	東員町									0
	いなべ市		1					2	30	33
	四日市市	4	1				5	12	9	31
	菟野町						3	6	6	15
	朝日町						1		1	2
	川越町									0
	鈴鹿市	2	3	1		1	7	14	5	33
亀山市	3	1				5	12	4	25	
中勢	津市						2	13	1040	1055
松阪	松阪市	14	1				1	7	42	65
	多気町	1					2	5	10	18
	明和町	1					2	2	4	9
	大台町							7	7	14
南勢 志摩	伊勢市	8	1					3	109	121
	玉城町						1		6	7

	南伊勢町							6	19	25
	大紀町	1						3	6	10
	度会町							1		1
	鳥羽市	4				1		4	15	24
	志摩市	4						1	17	22
伊賀	名張市	2						4		6
	伊賀市	5	1		1		17	17	88	129
尾鷲	尾鷲市			1			3	14	20	38
	紀北町						4	12	17	33
熊野	熊野市	2					11	8	3	24
	御浜町						2	3	3	8
	紀宝町	1						1	8	10
	計	52	9	2	1	1	73	161	1501	1800

B：巡視報告で指摘等のあったもの

市町名	文化財の名称	指摘事項	※対応状況
津市	四ツ野遺跡	個人住宅盛土あり。	試掘対応済。
	東平寺のシイノキ樹叢	一部、樹勢が落ちてきた。	市教委においても確認を進める。
	国津神社のケヤキ	枯損があり、落下の恐れある。	市教委においても確認を進める。
	柳谷の貝石山	崩落の危険性がある。	市教委においても確認を進める。
	榊原の貝石山	崩落の危険性がある。	市教委においても確認を進める。
	矢頭の大スギ	枯枝がひっかかっている。	市が注意喚起の看板を設置した。
四日市市	川島町のシデコブシ	日当たりを良くした方が望ましい。	市教委においても確認。対応方策の検討を進めていきたい。
	西阿倉川のアイナシ	上部にかぶさるクロモチガネの伐採が必要。	専門家の指導を受けながら、指定地内の雑木の伐採について、地元と協議し、進めていく予定。
	御池沼沢植物群落	竹、笹、帰化植物の侵入防止、除去が必要。	地元や学識者と連携を図りながら対応していきたい。
伊勢市	賓日館	基礎の数箇所にはひびが入っている。	市教委においても確認を進める。
	覆盆子洞	周囲が荒れており、見苦しい。	市教委においても確認を進める。
	松下の大クス	幹の中央が空洞化している。	市教委においても確認を進める。
松阪市	龍泉寺三門	天井の一部が破損している。	市教委現地確認し、所有者と面談。
	歴史民俗資料館	シロアリの駆除が必要。	市において、改修を検討中。
	月出の中央構造線	通行止めとなっている。	対応について協議中。
桑名市	松平定綱及一統之墓所	墓石を囲む石柵が一部なくなっている。	市教委としても認識。
鈴鹿市	岸岡山遺跡群	風雨等による侵食が進んでいる。	市が公園として整備を実施している。
	入道ヶ岳イヌツゲ及びアセビ群落	イヌツゲはほとんど見られない。	対応の方向性の整理を進めたい。
名張市	名張藤堂家邸	土壁が漏水のため欠落。樋の改修が必要。	市教委が年度内に修理を行う予定。
尾鷲市	向井遺跡	遺跡地図上の遺跡の箇所は既に道路になっている。	包蔵地カード作成時の道路部分であり、新たな道路はない。
	名古屋遺跡	以前より、遺跡地図上の遺跡の箇所は道路になっている。	遺跡は既に消滅。

	九木神社社叢	風倒木等の伐採について協議が必要。	県・市で現地協議を実施した。H19に伐採作業を予定している。
	矢ノ川陰谷樹叢	説明板の整備が必要。	市全体の中で、将来的な課題と考えている。
	法念寺のテツギヨ	保存・管理について、所有者との協議が必要。	関係者による協議を検討していきたい。
	尾鷲神社の大クス	一部に枯損がみられる。対策が必要。	市教委において、今後、対応を検討していきたい。
亀山市	野登山のブナ林	説明版の整備が必要。ヤマネ巣箱設置に伴う現状変更の徹底。	市教委が説明板設置者の把握ならびに、ヤマネ巣箱の状況把握に着手。 市教委が三角点説明板調査するも不明。説明版増設については、市教委も無設置の所を順次整備しており、早期の増設は困難な状況。ヤマネ巣箱設置については、現状変更手続として対応予定。
	宗英寺のイチョウ	囲い柵の整備が必要。	市教委が所有者に面談。 囲い柵については、補助対象とすることは困難。
	峯城跡	案内板、説明版の設置を望む。	既に看板2基を設置している。当面、新たな看板の設置は考えていないが、H19にパンフレットを作成予定であり、適切に案内誘導を図りたい。
	旧広野家住宅	外壁の腐朽がひどい。	市教委において対応の検討を進める。
	賀多神社舞台	老朽化が進行しているとのこと。	民間助成金等の活用も含め、検討していく。
鳥羽市	鎧崎古墳群	倭姫碑の北に接した地点は古墳の可能性はある。	古墳数が増える可能性や経塚の可能性もあるため、調査を行い、範囲の確定を進める。
	大津遺跡	道路付け替えが行われているが、事前対応がなされていない。	周知の遺跡の範囲外。
	鳥羽城址	パールロードビル、大黒橋、相橋にかかる工事について、十分な調査を行うこと。	1/18に県、市が現地協議。保存管理計画に従って、遺跡の保護を図る旨を確認。
	楯ヶ崎	破損した注意標識が見苦しい。	設置者の特定が困難な状況。
	熊野の鬼ヶ城附獅子巖	破損した看板が見苦しい。	設置者の特定が困難な状況。
熊野市	大丹倉	案内看板の設置を望む。	H19に市で看板の増設を検討する。
いなべ市	丹生川上城跡	遺跡東部に土砂搬入。	市教委が事業者と協議中。
伊賀市	竹島氏館跡	隣地で整地が行われている。	市教委が影響のない工事であることを確認。 市教委が隣接地の農小屋建設に工事立会を行うも遺構等検出なし。
	町井家住宅	梁・桁にキクイムシの害多数あり。 鴨居、土塀に一部欠損あり。	文化庁とも協議し、燻蒸処置の検討を進める。 H18年度内に補助事業として実施した。
	大村神社宝殿	柱にキクイムシの虫害が進んでいる。	市教委も、現地調査を行う意向。

	三蓋南城跡	北側で掘削が行われている。	市教委が現況を確認。所有者に注意を喚起したい。
	船戸地蔵	移転されている。	市教委が現地を確認。
多気町	柄ヶ池湿地植物群落	水位が高く、生育に問題を生じている。指定説明板の設置場所が適当でない。	町教委と協議中。
		水位が高く、生育に問題を生じている。クチナシが雑木の下で弱っている。	現地協議を行う方向で調整。2/19に現地協議を行い、方向性を検討した。
	法泉寺庭園・坂倉遺跡	看板の設置を望む。	来年度設置の方向で検討。
	東垣内遺跡、ツクイ遺跡、新神馬場遺跡、浜井場遺跡	遺跡範囲（付近）で工事が行われている。	町教委に確認を依頼した。
明和町	斎宮のハナショウブ群落	群落が減少している。笹笛川の工事の影響が懸念される。管理方法を検討する必要がある。	町教委と協議中。 町教委が検討資料のとりまとめを実施。
	北野遺跡、金剛坂遺跡、栗垣内遺跡、長波賀遺跡	遺跡範囲（付近）で工事が行われている。	町で対応済。
大台町	大淵寺のスタジイ	枯れが多くなってきている。	町教委に確認を依頼。
玉城町	蚊山遺跡	遺跡範囲の工場敷地が拡張されている。	10/16に試掘調査済。最近の埋立て部分で、遺構・遺物なし。
度会町	小川郷の火打石	合同での現地確認が必要。方向表示が必要。	町教委としても方向表示設置の予算を要求しており、設置した上で現地確認を検討。 2月中旬に案内表示板を設置した。
大紀町	七保のオハツキイチョウ	駐車場や案内板が必要。	町教委が近隣のコミュニティセンターの利用を検討。
南伊勢町	野見坂の地層褶曲	わかりやすい案内板の増設が必要。	町教委としては、無設置の所を優先に案内板整備を進めており、早期の設置は困難な状況。
	道方の浮島	カモ、コイの対策が必要。	町教委確認。コイは、池に設置したアミの外に移している。
		アイガモにより、水中の植物が壊滅的な被害を受けることが危惧される。	町教委に連絡を行った。 現地にて状況の整理を行いたい。
	細谷暖地性シダ群落	希少なシダは見られない。	町教委に連絡を行った。 現地にて状況の整理を行いたい。
紀北町	熊野参詣道馬越峠	工食用標識は完了後速やかに撤去すること。	工事完了後撤去することを確認。 工期は平成18年12月28日であり、完了後、速やかに撤去することを町教委が確認。
		大白遺跡	城跡下の山腹で土取りが行われている。
	フウラン群生地	着生木となるカキの木等の新規植栽が必要。	町教委が所有者と協議する方向で検討する。

	豊浦神社社叢	カゴノキの高木が衰退している。	町教委が現地を確認。対応の検討を進めたい。
	鈴島暖地性植物群落	シカの食害が激しく、早急な保護対策が必要。	状況の確認は済ませており、具体的な対応方策を検討中。
御浜町	神木のイヌマキ	枝の先端が枯れている。	町教委において落下物注意を喚起する看板の設置を検討したい。
紀宝町	神内神社樹叢	参道にカンランが植栽されている。	指定範囲を確認中。
	里中遺跡、早馬遺跡、岡崎遺跡	遺跡の宅地化が懸念される。	町教委で有無確認を実施している。

(三重県文化財保護指導委員)

埋蔵文化財	清水 弘之	渡辺 尚登	三枝 義久	浅尾 悟	本堂 弘之	浅生 悦生
	新田 洋	榎本 義讓	奥野 実	増田 安生	大西 素行	村上 喜雄
	竹内 正弘	北島 充生	寺岡 光三	市田 進一	水口 昌也	東 成志
	福村 直人					
天然記念物	川添 護	桐生 定巳	鈴木 伸治	下村 純也	西川 浩之	三井 博之
	高松 隆吉	橋本 清	坂部 元宏	岡 與一	松月 茂明	北村 淳一
	杉澤 学	山本 和彦	林 伸行			
建造物	嶋村 明彦	大城 哲也	松月 久和	滝井 利彰	田崎 通雅	岩本 直樹
彫刻	采尺 真澄	藤田 直信	瀧川 和也			
熊野参詣道	吉田 金好	花尻 薫				

(2) 文化財保護にかかる会議

①三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財保護指導委員会会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地区	開催日時	場所
北勢・中勢・伊賀	平成18年7月4日(金) 13:30~17:00	県伊賀庁舎
松阪・南勢志摩	平成18年6月30日(金) 13:30~17:00	県伊勢庁舎
尾鷲・熊野	平成18年6月28日(水) 13:30~17:00	県尾鷲庁舎

- ・内容 平成18年度文化財保護事業の概要
指定文化財に関する事務手続き等について
文化財パトロールの実施について
- ・出席者 市町教育委員会文化財保護行政担当者
三重県文化財保護指導委員

② オオサンショウウオ保護連絡会議

- ・目的 オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有する
- ・日時 平成18年2月5日(月) 13:30~16:00
- ・場所 青山公民館 2F会議室(伊賀市阿保)
- ・内容 ①研究協議「オオサンショウウオの保護に関する課題について」
三重県立養護学校玉城わかば学園 教諭 清水善吉
②平成18年度のオオサンショウウオ保全対策について
伊賀建設事務所、川上ダム建設所、日本サンショウウオセンター
③オオサンショウウオの保護事例報告について
伊賀市教育委員会
- ・助言者 松井正文(京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授)
富田靖男(元三重県立博物館長)
松月茂明(元日本サンショウウオセンター 所長)
清水善吉(三重県立養護学校玉城わかば学園 教諭)
- ・参加者 20名

③ ネコギギ保護連絡会議

- ・目的 ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有する
- ・日時 平成19年3月1日(月) 13:30~16:00
- ・場所 吉田山会館 206号会議室
- ・内容 1 「天然記念物ネコギギ保護管理指針」の運用について
三重県教育委員会事務局文化財保護室 村岡一幸
2 事例報告
・員弁川水系ネコギギ保護増殖事業について
いなべ市教育委員会 生涯学習課 後藤健宏
・津市内の河川におけるネコギギの生息状況について
三重大学生物資源学部海洋個体群動態学研究室 鳥居千晴
・宮川における台風災害前後のネコギギ個体数の変化
京都大学大学院 鹿野雄一
3 その他
・亀山市における平成19年度ネコギギ調査事業について
- ・助言者 名越 誠(三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授)
原田泰志(三重大学生物資源学部教授)
渡辺勝敏(京都大学大学院理学研究科助教授)
- ・参加者 31名

(3) 発掘調査届・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘（土木工事等）に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成18年4月から平成19年3月までに処理を行った当該通知・届出の件数は以下のとおりである。

	93条										94条										92条	99条	合計				
	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	土地区画整理	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	その他開発	計	道路	河川	港湾・ダム	学校	その他建物	公園造成	ガス・電気・水道等				農業関係	その他開発	保存目的	計
桑名市	12	14	1	4		8	4				3	46	3				1					1		5		12	63
木曾岬町												0												0			0
東員町						1						1												0			1
いなべ市	4	1	1			1				4	1	12	1									1		2		1	15
四日市市	5	15		2		8	6			2	3	41	1							7			1	9		2	52
菰野町												0												0			0
朝日町		1										1												0		1	2
川越町												0												0			0
鈴鹿市	17	67	6	2	2	9	3				1	5	112	1			1		1	8	1	2		14		17	143
亀山市	4	5	2	1		1	2				2	3	20	1				1	1				1	4		5	29
津市	3	13		1		25	5			28		5	80	3	1			1		22	1			28		6	114
松阪市	12	66	1	1	6	20	20			6	5	2	139	1	1			2	1	2				7		4	150
多気町												0												0			0
明和町		1		2		1	1					5												0		3	8
大台町												0												0			0
伊勢市												0												0			0
玉城町	1	1					2				1	5										1		1			6
度会町											4	4												0			4
大紀町												0												0			0
南伊勢町												0												0			0
鳥羽市						1						1	1	1					1					2			3
志摩市						2						2												0		1	3
伊賀市	3		1			2	1				1	1	9							1	1			2		1	12
名張市												0												0			0
尾鷲市												0												0			0
紀北町												0												0			0
熊野市												0												0			0
御浜町												0												0			0
紀宝町												0												0			0
三重県												0	8	2			4	2			2			18		18	36
国・旧公団												0	1											1			1
計	61	##	12	13	8	79	44	0	0	40	14	23	478	21	4	0	5	7	4	40	5	6	1	93	0	71	642

(4) 埋蔵文化財の発見(法第100条関係)

	物件名	数量(コンテナパット箱数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	通知日	備考
1	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、石器、木製品等	789	松阪市上川町	村竹コノ遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H18.5.9	H18.5.15	
2	石器・縄文土器・弥生土器	1	津市大字野田	梁瀬遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.5.19	H18.5.30	
3	石器・土師器・陶器等	19	明和町齋宮字丁長・上横田、上野字土橋・比和加山	丁長遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.6.15	H18.6.22	
4	土師器・陶器・石器等	16	明和町齋宮字丁長・上横田、	丁長遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.3	
5	弥生土器、土師器等	1	多気町相可	校庭遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.8.25	H18.9.5	
6	土師器・須恵器・木器等	12	多気町大字三疋田内	三疋田遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.8.23	H18.9.5	
7	土師器、須恵器、山茶碗、石器、木製品	11	松阪市上川町	甘子遺跡(2次)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H18.8.25	H18.9.7	
8	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、石器、木製品等	49	松阪市上川町	村竹コノ遺跡(第4次)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H18.9.7	H18.9.11	
9	土師器、須恵器、瓦器、瓦、金属器	34	伊賀市大谷	森庵遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.9.4	H18.9.11	
10	土師器、陶磁器等	107	松阪市茅原町東沖	東沖遺跡	三重県	茅原江土地改良区	三重県埋蔵文化財センター	H18.10.23	H18.10.25	
11	土師器等	1	明和町大字池村字野田	野田遺跡	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	H18.10.23	H18.10.26	
12	土師器等	3	明和町大字池村字生洲	生洲遺跡	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	H18.10.23	H18.10.26	
13	土師器、須恵器、陶器、木製品等	52	津市南河路	立花堂遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.11.13	H18.11.16	
14	土師器片	小片5片	紀宝町大字成川字下地壺丁田	壺丁田遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H18.11.14	H18.11.16	
15	弥生土器、土師器、須恵器等	18	明和町竹川字中垣内	史跡齋宮跡第149次調査	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H18.11.15	H18.11.20	
16	土師器等	1	多気町大字土羽字与五郎谷	与五郎谷遺跡	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	H18.11.20	H18.12.6	
17	土師器	小片2点	鈴鹿市野辺町、竹野町	野辺遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.12.7	H18.12.12	
18	陶磁器片	3点	津市久居東鷹跡町	久居城址	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H18.12.28	H19.1.4	
19	土師器、須恵器、石器	39	松阪市嬉野下之庄町	西野田遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.1.5	H19.1.9	
20	土師器皿、土師器甕、灰釉陶器、石器	20	明和町池村	長谷町遺跡	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	H19.1.19	H19.1.23	
21	土器、陶磁器、石器	3	伊賀市霧生字中切	霧生城跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.1.22	H19.1.23	
22	土師器、陶器等	1	伊賀市種生字中道	中道遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.8	H19.2.13	
23	土師器、須恵器等	20	明和町齋宮字東加座	史跡齋宮跡第150次調査	三重県	明和町	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
24	土師器、須恵器等	2	明和町齋宮字東加座・鍛冶山内	史跡齋宮跡第151-1次調査	三重県	明和町	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
25	土師器、須恵器等	18	明和町齋宮字塚山、篠林、出在家、楽殿内	史跡齋宮跡第151-2次調査	三重県	明和町	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
26	土師器片	1	明和町齋宮	史跡齋宮跡第151-3次調査	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
27	土師器、須恵器等	10	明和町齋宮	史跡齋宮跡第151-4次調査	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
28	土師器、陶器等	1	明和町竹川	史跡齋宮跡第151-6次調査	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
29	土師器、須恵器等	5	明和町齋宮字東加座、東前沖地内	史跡齋宮跡第151-7次調査	三重県	明和町	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
30	土師器、須恵器等	1	明和町齋宮	史跡齋宮跡第151-10次調査	三重県	竹内重雄	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
31	土師器、須恵器等	1	明和町齋宮字木葉山	史跡齋宮跡第151-11次調査	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H19.2.14	H19.2.16	
32	弥生土器、土師器、須恵器、陶器等	9	鈴鹿市上箕田	大木ノ輪遺跡	三重県	鈴鹿川沿岸土地改良区	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.20	H19.2.22	
33	陶磁器、銭貨、砥石等	1	大紀町字流谷	流谷遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.16	H19.2.22	
34	縄文土器、土師器、山茶碗、木製品等	11	玉城町上田辺	大谷遺跡(第2次)	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.21	H19.2.26	
35	土師器・陶器	小片3片	多気町大字三疋田内	三疋田遺跡(範囲確認調査)	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.22	H19.2.26	
36	土師器、青磁、陶器、金属器等	4	松阪市飯高町	岸本遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.23	H19.2.27	
37	弥生土器、古式土師器、須恵器、鉄器、陶磁器等	96	松阪市肥留町	西肥留遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.27	H19.3.1	
38	土師器、須恵器	1	伊賀市上神戸	奥城寺遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.2.27	H19.3.1	
39	縄文土器、土師器、須恵器、石製品等	57	津市木造町字井手ノ上	井手ノ上遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H19.3.14	H18.3.16	
40	縄文土器、土師器、須恵器、石製品等	639	津市木造町	木造赤坂遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H19.3.14	H18.3.16	
41	土器、陶器	1	鈴鹿市上箕田町、中箕田町	上箕田遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.3.19	H19.3.22	
42	土師器片、陶器片	1	松阪市大平尾町	松阪六地藏遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.3.26	H19.3.27	
43	須恵器、土師器	1	桑名市多度町猪飼	砂田遺跡	三重県	三重県	三重県埋蔵文化財センター	H19.3.23	H19.3.29	
44	石鏡片、土師器片、山茶碗片等	1	熊野市新鹿町中山	中山北遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H19.3.29	H19.3.30	
45	土師器・ロクロ土師器等	1	明和町齋宮	史跡齋宮跡 第151-12次調査	三重県	民間	齋宮歴史博物館	H19.3.29	H19.3.30	

※数量欄の数字のみはコンテナパットでの箱数

(5) 埋蔵物の文化財認定(法第102条関係)

物件名	数量(コンテナハット箱数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	認定日	備考
1 弥生土器	1	津市納所町	納所遺跡	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	H18.3.31	H18.4.18	
2 土師器	1	津市野田	浜垣内砦跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H18.3.31	H18.4.18	
3 弥生土器	1	津市野田字千平	平栄遺跡	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	H18.3.31	H18.4.18	
4 須恵器・土師器・陶器・木製品・石製品等	230	四日市市大矢知町字久留倍	久留倍遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省	四日市市教育委員会文化財整理作業所	H18.3.30	H18.4.18	
5 土師器・須恵器・近世陶磁器等	10	朝日町大字柿字城ノ広	城ノ広遺跡	朝日町教育委員会教育長	朝日町柿土地区画整理組合	朝日町教育委員会	H18.3.13	H18.4.18	
6 山茶碗・須恵器・土師器・陶器	整理箱2箱	桑名市大字桑部字山ヶ鼻	篠原遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
7 常滑陶器・木片	整理箱2箱	桑名市大字桑部字山ヶ鼻	篠原遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
8 土師器・瀬戸美濃陶器・瀬戸美濃磁器・肥前磁器・常滑陶器・瓦・木製品	3	桑名市伊賀町	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
9 土師器・山茶碗・木製品等	1	桑名市大字蓮花寺字惣作	宇賀遺跡	桑名市教育委員会教育長	民間	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
10 土師器・山茶碗・瀬戸美濃陶器・常滑陶器・木製品	整理箱7箱	桑名市大字本願寺字有王	有王遺跡	桑名市教育委員会教育長	民間	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
11 山茶碗	整理箱1箱	桑名市大字大井町		桑名市教育委員会教育長	民間	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
12 土師器・山茶碗・常滑陶器・瓦・獣骨等	12	桑名市大字江場字中縄	江場中縄遺跡	桑名市教育委員会教育長	民間	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
13 土師器・山茶碗	整理箱8箱	桑名市大字赤尾字坂ノ下	柳原遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
14 瀬戸美濃陶器・瀬戸美濃磁器・肥前磁器・常滑陶器等	整理箱7箱	桑名市外堀	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
15 肥前磁器	整理箱1箱	桑名市大字江場字中縄	江場城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
16 常滑陶器	整理箱1箱	桑名市大字太夫字西浦	太夫遺物散布地	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
17 常滑陶器等	整理箱1箱	桑名市大字西金井字村中	村中遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
18 土師器・山茶碗・瀬戸美濃陶器・木製品	1	桑名市大字蓮花寺字惣作	宇賀遺跡	桑名市教育委員会教育長	民間	桑名市教育委員会	H18.3.31	H18.4.24	
19 土師器・須恵器ほか	7	明和町大字斎宮字北野	斎宮北野A遺跡	明和町長	民間	明和町出土遺物格納庫	H18.4.14	H18.5.2	
20 土師器・須恵器・灰釉陶器・黒色土器ほか	89	明和町大字斎宮字北野	斎宮北野B遺跡	明和町長	民間	明和町出土遺物格納庫	H18.4.14	H18.5.2	
21 土師器(皿、杯、鍋、甕、甌)、須恵器、土馬ほか	356	明和町大字池村字戸峯	戸峰A遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H18.4.14	H18.5.2	
22 弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗ほか	96	明和町大字竹川字馬渡	馬渡遺跡	明和町長	明和町	明和町出土遺物格納庫	H18.4.14	H18.5.2	
23 土師器(杯、鍋、甕、碗、高杯)、須恵器(甕、壺、杯)ほか	32	明和町大字有爾中字平田	発シA遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H18.4.14	H18.5.2	
24 土師器(杯、鍋、甕)、須恵器ほか	4	明和町大字坂本字栗垣外	坂本古墳群	明和町長	個人、民間	明和町出土遺物格納庫	H18.4.14	H18.5.2	
25 土師器・陶器等	21	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡(北畠氏館跡)	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	H18.3.15	H18.5.2	
26 土器・陶器・磁器・瓦	65	伊賀市上野丸之内	国史跡上野城跡	伊賀市教育委員会教育長	伊賀市	伊賀市教育委員会埋蔵文化財整理所	H17.7.15	H18.5.16	
27 土器・陶器・磁器・瓦	13	伊賀市西明寺字三反田	西明寺三反田遺跡	伊賀市教育委員会教育長	中瀬川南土地改良区	伊賀市教育委員会埋蔵文化財整理所	H18.12.28	H18.5.16	
28 須恵器	3	鈴鹿市石薬師町	稻荷山古墳	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.5.8	H18.6.2	
29 埴輪	4	鈴鹿市国府町字西ノ野	西ノ野遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.5.8	H18.6.2	
30 須恵器・灰釉陶器・山茶碗・土師器・瓦・近世陶器	1	鈴鹿市国分町字野田	国分北遺跡	鈴鹿市長	民間	鈴鹿市考古博物館	H18.5.29	H18.6.19	
31 土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・青磁・山茶碗・山皿・古瀬戸・近世陶器	4	鈴鹿市弓削	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.5	H18.6.22	
32 縄文土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・常滑焼	3	鈴鹿市弓削	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.5	H18.6.22	
33 縄文土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・緑釉陶器	3	鈴鹿市弓削	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.5	H18.6.22	
34 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・平瓦・丸瓦・灰釉陶器・青磁・山茶碗・山皿・天目茶碗・近世陶器	2	鈴鹿市平田本町	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.5	H18.6.22	
35 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・軒平瓦・平瓦・丸瓦・灰釉陶器・山茶碗・常滑	6	鈴鹿市平田本町	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.5	H18.6.22	
36 瓦	1	鈴鹿市国分町	国分遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.12	H18.6.28	

	物件名	数量(コンテナハット箱数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	認定日	備考
37	土師器、須恵器、灰釉陶器	1	明和町大字竹川字露越	露越遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H18.6.26	H18.7.5	
38	土師器・須恵器甕	1	明和町大字坂本字西垣外	坂本古墳群	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H18.6.26	H18.7.5	
39	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・土製紡錘車・土馬	5	明和町大字坂本字粟垣外	粟垣外遺跡	明和町長	民間	明和町出土遺物格納庫	H18.6.26	H18.7.5	
40	土師器(杯、甕)、須恵器、土馬	1	明和町大字池村字戸峯	戸峰B遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H18.6.26	H18.7.5	
41	土師器(皿、甕、碗)、須恵器、陶器	4	明和町大字池村字世古	世古D遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H18.6.26	H18.7.5	
42	弥生土器、須恵器、山茶碗、陶器、磁器	1	鈴鹿市柳町字中島、字波田	中島遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.23	H18.7.5	
43	土師器、須恵器、山茶碗、山皿、鍔型	6	鈴鹿市国府町字富士	富士遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.6.21	H18.7.5	
44	稲初遺跡出土遺物(土師器片)	整理箱1箱	津市稲葉町稲初垣内	稲初遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H18.5.17	H18.8.9	
45	庚申石碑	21基	桑名市大字矢田字城山	愛宕山城跡	桑名市教育委員会教育長	民間	走井山公園内	H18.3.31	H18.8.21	
46	縄文土器	2点	いなべ市大安町中央ケ丘	下小原古墳群隣接地	いなべ市教育委員会教育長	個人	いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
47	山茶碗、施釉陶器等	1/2	いなべ市大安町丹生川上	丹生川上城跡	いなべ市教育委員会教育長	民間	いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
48	須恵器・山茶碗等	1/2	いなべ市大安町丹生川上	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(丹生川上)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
49	須恵器・山茶碗等	2	いなべ市大安町丹生川中	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(丹生川中)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
50	須恵器・山茶碗・土師器等	1/3	いなべ市大安町丹生川久下	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(丹生川久下)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
51	土師器・陶器・山茶碗等	1/3	いなべ市大安町片樋	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(片樋)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
52	土師器、須恵器、山茶碗、灰釉陶器等	1/6	いなべ市大安町平塚	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(平塚)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
53	土師器、須恵器、山茶碗等	1/2	いなべ市大安町高柳	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(高柳)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
54	山茶碗等	1/6	いなべ市大安町石樽東	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(大井田)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
55	山茶碗等	1/6	いなべ市大安町石樽東	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(梅戸)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
56	山茶碗等	1/3	いなべ市大安町石樽東	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(門前)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
57	山茶碗等	1/3	いなべ市大安町石樽東	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(石樽東)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
58	山茶碗・陶器・土師器・山皿等	1/3	いなべ市大安町石樽北	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(石樽北)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
59	山茶碗等	1/6	いなべ市大安町石樽南	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(石樽南)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
60	山茶碗等	1/3	いなべ市大安町石樽北山	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(石樽北山)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
61	土師器、須恵器等	1/2	いなべ市員弁町平古	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(平古)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
62	土師器、須恵器、山茶碗等	1	いなべ市員弁町北金井	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(北金井)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
63	須恵器、山茶碗、灰釉陶器等	5/6	いなべ市員弁町大泉新田	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(大泉新田)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
64	山茶碗等	1/6	いなべ市員弁町石仏	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(石仏)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
65	土師器、須恵器、山茶碗等	1/3	いなべ市員弁町畑新田	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(畑新田)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
66	須恵器、山茶碗、施釉陶器等	2	いなべ市員弁町大泉	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(大泉)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
67	須恵器、山茶碗、施釉陶器等	2	いなべ市員弁町東一色	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(東一色)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
68	山茶碗、灰釉陶器等	1/3	いなべ市員弁町西方	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(西方)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
69	土師器、須恵器、山茶碗等	1/2	いなべ市員弁町楚原	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(楚原)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
70	土師器、施釉陶器等	1/6	いなべ市員弁町御菌	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(御菌)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
71	須恵器、山茶碗、土師器等	2/3	いなべ市員弁町下笠田	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(下笠田)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
72	須恵器、灰釉陶器、山茶碗等	5/6	いなべ市員弁町上笠田	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(上笠田)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	

	物件名	数量(コンテナボックス数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	認定日	備考
73	須恵器、施釉陶器等	1/6	いなべ市員弁町笠田新田	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(笠田新田)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
74	土師器、須恵器、施釉陶器等	1/3	いなべ市員弁町宇野	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(宇野)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
75	石器、施釉陶器等	1/3	いなべ市員弁町坂東新田	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(坂東新田)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
76	弥生土器、山茶碗等	1/6	いなべ市員弁町高柳	市内遺跡詳細分布調査出土遺物(高柳)	いなべ市教育委員会教育長		いなべ市教育委員会	H18.7.20	H18.8.21	
77	須恵器、陶器(山茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町桶原字大谷	大谷遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
78	石鏝、サカハ片、チャート片、縄文土器、土師器、山茶碗	整理箱1箱	津市芸濃町桶原字清谷	清谷遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
79	サカハ片、須恵器、土師器(中世)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、黒色土器、青磁、古銭	整理箱1箱	津市芸濃町桶原字久保垣内	久保垣内遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
80	土師器、陶器(山茶碗)、櫻痕の石、五輪	整理箱1箱	津市芸濃町桶原字石山	石山遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
81	サカハ片、チャート片、縄文土器、弥生土器、土師器(古代～中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、天目茶碗、青磁、瓦質土器(羽釜)、瓦器碗)	整理箱1箱	津市芸濃町桶原字大坪、久保垣内	大坪A遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
82	須恵器、土師器(中世等)、ロクロ土師器、陶器(灰釉陶器、山茶碗)、磁器、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町桶原字大坪	大坪B遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
83	石鏝、サカハ片、土師器(中世)、陶器(山茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町林字北山、青木	北山遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
84	土師器(中世)、陶器(山茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町林字北浦	北浦B遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
85	須恵器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町林字北浦	北浦C遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
86	石鏝、石楯、サカハ片、縄文土器、須恵器、土師器(古代～中世)、陶器(緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、天目茶碗、甕、練鉢)、白磁、青磁、瓦	1	津市芸濃町林上垣内、桶原字青木	上垣内遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
87	サカハ片、土師器、陶器(山茶碗、天目茶碗等)、瓦	整理箱2箱	津市芸濃町桶原字青木	青木A遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
88	土師器(中世)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、天目茶碗、練鉢等)、青磁(碗)、瓦質土器(羽釜)、砥石、円形加工品	整理箱2箱	津市芸濃町桶原字青木	青木B遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
89	土師器(中世等)、陶器(山茶碗等)、青磁	整理箱1箱	津市芸濃町林字北浦	北浦D遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
90	有舌尖頭器、チャート片、土師器、陶器(山茶碗頭)、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町林字切畑	切畑遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
91	土師器(中世等)、陶器	整理箱1箱	津市芸濃町林字城屋敷	林城屋敷城跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
92	土師器、陶器(山茶碗、鉄釉陶器)、瓦器碗	整理箱1箱	津市芸濃町林字開発	開発遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
93	須恵器、土師器、陶器(山茶碗、天目茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町林字中畑	中畑遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
94	石鏝、削器、搔器、サカハ片、チャート片	整理箱1箱	津市芸濃町林字上新田	上新田遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
95	陶器(山茶碗、播鉢)、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町林字墓ノ谷	墓ノ谷遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
96	須恵器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗、播鉢等)、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町中縄字仲小路	仲小路遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
97	翼状刺片、石鏝、石錘、チャート片、押型土器、土師器(古代～中世等)、陶器(山茶碗、天目茶碗、播鉢等)、瓦質土器、磁器、瓦、円形加工品	1	津市芸濃町中縄西野、峠山	西野遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
98	石鏝、サカハ片、土師器(中世等)陶器(山茶碗、天目茶碗、播鉢)、瓦質土器(羽釜)、磁器、砥石、瓦、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町忍田字城山	忍田城山遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
99	石鏝、須恵器、土師器(中世等)陶器(山茶碗、天目茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町忍田字興	興遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査

	物件名	数量(コンテナ/パレット箱数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	認定日	備考
100	石鏝、サカハ片、土師器、須恵器、陶器(灰釉陶器、山茶碗、鉄釉陶器、播鉢)、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町忍田字松山	忍田松山A遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
101	石鏝、サカハ片、チャート片、縄文土器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗)、磁器	整理箱1箱	津市芸濃町忍田字松山	忍田松山B遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
102	須恵器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗、鉄釉陶器等)磁器	整理箱1箱	津市芸濃町椋本字塚田	塚田遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
103	石鏝、サカハ片、須恵器、土師器、陶器(山茶碗、天目茶碗等)、瓦質土器(羽釜)	整理箱1箱	津市芸濃町椋本字眞虫谷	眞虫谷A遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
104	サカハ片、須恵器、土師器(古代)	整理箱1箱	津市芸濃町椋本字眞虫谷	眞虫谷B遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
105	サカハ片、チャート片、土師器、須恵器、陶器(山茶碗等)、磁器	整理箱1箱	津市芸濃町椋本字菖蒲谷	菖蒲谷A遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
106	サカハ片、須恵器、土師器	整理箱1箱	津市芸濃町椋本字菖蒲谷	菖蒲谷B遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
107	須恵器、土師器(古代～中世等)、陶器(山茶碗、鉄釉陶器)、青磁、磁器	整理箱2箱	津市芸濃町椋本字巾、八幡前	巾遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
108	磨製石斧、磨石、楔形石器、石匙、削器、石鏝、サカハ片、トトロ石器、縄文土器、須恵器、土師器(中世等)陶器(山茶碗、山皿、播鉢等)青磁、石鏝、石臼、瓦	整理箱2箱	津市芸濃町椋本字大谷、千手	大石遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
109	縄文土器、トトロ石器、須恵器、土師器(皿、鍋、羽釜)、ロクロ土師器、製塩土器、陶器(緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、山皿、播鉢等)、青磁、黒色土器、瓦器碗、磁器	1箱	津市芸濃町椋本字川原、森、沢、萩野字川向	椋本南方遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
110	土師器、陶器(山茶碗、播鉢)、青磁、白磁	整理箱2箱	津市芸濃町椋本字千手	千手遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
111	サカハ片、チャート片、縄文土器、土師器、須恵器、陶器(山茶碗、播鉢)、瓦質土器(羽釜、火舎)、磁器、瓦	整理箱3箱	津市芸濃町雲林院字西之院、堀、大願寺、坂谷	西之院遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
112	土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町雲林院字堀	堀遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
113	石鏝、サカハ片、チャート片、縄文土器、土師器(古代～中世等)、須恵器、陶器(山茶碗)、青磁、瓦質土器、磁器、瓦、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町雲林院字岸瀬古	岸瀬古遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
114	須恵器、土師器(中世)、陶器(鉄釉陶器)、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町雲林院字仲沢	仲沢遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
115	削器、サカハ片、弥生土器、須恵器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗、天目茶碗)、瓦質土器(羽釜)、青磁、磁器、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町雲林院字野垣内	野垣内遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
116	石鏝、土鏝、縄文土器、黒曜石、弥生土器、ロクロ土師器、須恵器、土師器、陶器(緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、鉄釉陶器、播鉢等)、白磁、瓦質土器、瓦器碗、磁器、瓦、砥石、木製品、円形加工品	整理箱3箱	津市芸濃町雲林院字青木、井ノ上、松ノ浦	雲林院青木遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
117	土師器、陶器(山茶碗、天目茶碗、播鉢等)、磁器、瓦、礫石経	整理箱1箱	津市芸濃町雲林院字出口	出口遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
118	陶器(片口鉢)	1箱	津市芸濃町雲林院字大洞、小野平字千度坊	伝仙輪寺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査

	物件名	数量(コンテナハット箱数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	認定日	備考
119	土師器、弥生土器、土師器(緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、天目茶碗、鉄釉陶器、常滑焼、播鉢等)、黒色土器、瓦器碗、瓦質土器、白磁、鉄滓、犬形土製品、鉄滓、フイゴ羽口、銅銭、磁器、瓦、円形加工品		津市芸濃町雲林院字堀、元屋敷、仲沢、宗下、学屋敷	下川遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
120	石鏝、石剣、播鉢、チャート片、石鏝、縄文土器、弥生土器、勾玉、須恵器、土師器(中世等)、陶器(緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、天目茶碗、播鉢等)、青磁、黒色土器、瓦器碗、瓦質土器、磁器、円形加工品	整理箱(590×386×154mm)1箱	津市芸濃町多門字北奥、高塚、久保代、雲林院字井ノ上野垣内	北奥遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
121	チャート片、縄文土器、弥生土器、土師器(古代～中世等)、須恵器、陶器(山茶碗)、瓦器碗、瓦質土器(羽釜)、磁器、土鏝	整理箱1箱	津市芸濃町多門字梶田	梶田遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
122	チャート片、縄文土器、弥生土器、土師器(古代～中世等)、須恵器、陶器(山茶碗、播鉢)、瓦器碗、瓦質土器、磁器、瓦、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町北神山字上野	多門遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
123	須恵器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗等)磁器、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町北神山字里ノ内	里ノ内遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
124	チャート片、須恵器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗、鉄釉陶器、天目茶碗)、瓦質土器(羽釜)、磁器	整理箱1箱	津市芸濃町北神山字血解	血解遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
125	縄文土器、土師器(古代～中世等)、須恵器、陶器(緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗)、瓦器碗、黒色土器、製塩土器、瓦、磁器、円形加工品	1	津市芸濃町萩野字松山、久田、大門、米野、川向	松山遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
126	土師器、須恵器	整理箱1箱	津市芸濃町萩野字松山	松山古墳	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
127	チャート片、縄文土器、弥生土器、須恵器、土師器(古代～中世等)、陶器(緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、播鉢)、磁器、瓦、土鏝	1	津市芸濃町岡本字赤坂、萩野字前興	赤坂遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
128	須恵器、土師器、陶器(灰釉陶器、山茶碗)、磁器、円形加工品	整理箱1箱	津市芸濃町萩野字大屋垣内	大屋垣内遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
129	須恵器、土師器(中世等)、陶器(山茶碗)、瓦質土器(羽釜)、磁器、瓦	整理箱1箱	津市芸濃町岡本字浅田	浅田A遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
130	土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗等)、磁器	整理箱1箱	津市芸濃町岡本字土穴	土穴遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
131	土師器(中世等)、陶器(山茶碗)	整理箱1箱	津市芸濃町岡本字手張	手張遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
132	須恵器、土師器、陶器(灰釉陶器、山茶碗)、磁器、瓦	1	津市芸濃町岡本字浅田	浅田B遺跡	津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
133	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)	1	津市芸濃町楠原		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
134	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)	1	津市芸濃町林		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
135	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)	1	津市芸濃町中繩		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
136	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)	1	津市芸濃町忍田		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
137	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町椋本		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
138	土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町椋本(横山池)		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査

	物件名	数量(コンテナハット箱数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	認定日	備考
139	縄文土器、須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)	1	津市芸濃町雲林院		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
140	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町多門		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
141	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町北神山		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
142	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町小野平		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
143	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町萩野		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
144	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町岡本		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
145	須恵器、土師器(中世等)、陶器(灰釉陶器、山茶碗、播鉢等)、近世陶器	1	津市芸濃町河内		津市教育委員会教育長		津市埋蔵文化財センター	H18.7.31	H18.8.14	遺跡詳細分布調査
146	山茶碗	1	鈴鹿市弓削一丁目	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.8.11	H18.8.25	
147	土師器・山皿・木製品	1	鈴鹿市西条町字東澤	沢遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.8.15	H18.8.25	
148	弥生土器、土師器、須恵器、中世陶器等	3	四日市市大矢知町字久留倍	久留倍遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省	四日市市教育委員会文化財整理作業所	H18.9.1	H18.9.11	
149	土師器、須恵器、瓦	3	鈴鹿市広瀬町字西野	長者屋敷遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.9.8	H18.9.21	
150	陶磁器・瓦	1	津市栗真町屋町	鬼が塩屋遺跡(第2次)	津市教育委員会教育長	国立大学法人三重大学	津市埋蔵文化財センター	H18.9.7	H18.9.21	
151	土師器、須恵器、陶器	1	津市安濃町今徳	礪遺跡	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	H18.9.7	H18.9.21	
152	土師器	1	津市高茶屋小森町	四ツ野B遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H18.9.7	H18.9.21	
153	土師器、須恵器、陶器	5	津市川方町	川方城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H18.9.7	H18.9.21	
154	土師器(鍋、皿)、山茶碗、土雑	2	志摩市阿児町国府字上ノ東	殿畑遺跡(2次)	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩教育委員会文化スポーツ課	H18.8.3	H18.10.4	
155	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶器、陶磁器、瓦、石器、鉄製品、銅製品	22	津市安濃町今徳	今徳城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H18.10.6	H18.10.18	
156	埴輪、須恵器	2	津市安濃町田端上野	明合古墳群	津市教育委員会教育長	農林水産省	津市埋蔵文化財センター	H18.10.16	H18.10.25	
157	弥生土器・須恵器	1	鈴鹿市河田町	南山遺跡(第4次)	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	H18.10.16	H18.11.1	
158	土師器(皿、杯、鍋、甕、甑)、須恵器、土まほか	49	明和町大字上野字古堀	古堀遺跡	明和町長	民間	明和町出土遺物格納庫	H18.7.7	H18.11.13	
159	土師器杯まほか	1	明和町大字金剛坂字辰ノ口	金剛坂遺跡	明和町長	民間	明和町出土遺物格納庫	H18.7.14	H18.11.13	
160	瓦	1	鈴鹿市神戸5丁目	本多町遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	H18.11.7	H18.11.27	
161	胃1点、剣1点、直刀2点、須恵器まほか	1	名張市赤目町檀字横山内	琴平山古墳	名張市教育委員会教育長	個人	名張市教育委員会	H18.12.6	H18.12.22	
162	土師器、須恵器	1	鈴鹿市郡山町字野口	郡山野遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	H18.12.7	H19.1.10	
163	土師器、須恵器	1	鈴鹿市郡山町字東大野	郡山野田遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	H18.12.7	H19.1.10	
164	土師器、須恵器、硯、山茶碗、近世陶器、瓦	93	鈴鹿市郡山町字野口	西川遺跡2次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.12.19	H19.1.10	
165	土師器	1	鈴鹿市国府町	西ノ野遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H18.12.8	H19.1.10	
166	土師器、須恵器	1	鈴鹿市国府町字井口	保子里遺跡5次	鈴鹿市長	民間	鈴鹿市考古博物館	H19.1.5	H19.1.29	
167	土師器、須恵器、刀子	1	鈴鹿市国府町字井口	保子里8号墳	鈴鹿市長	民間	鈴鹿市考古博物館	H19.1.5	H19.1.29	
168	弥生土器、須恵器、瓦	1	鈴鹿市岸岡町字雲雀山	岸岡山B遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H19.1.23	H19.2.5	
169	土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、瓦	1	鈴鹿市国分町字裏山	国分北遺跡5次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H19.1.22	H19.2.5	
170	弥生土器、土師器、須恵器、石鏃、石斧、石庖丁	109	鈴鹿市国分町字境谷	境谷遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H19.2.1	H19.2.13	
171	土師器、須恵器、白磁、山茶碗、山皿、古瀬戸、常滑焼	2	鈴鹿市平田本町	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H19.2.20	H19.3.6	
172	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼、青磁、石器剥片	3	鈴鹿市弓削	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H19.2.27	H19.3.9	

	物件名	数量(コンテナバット箱数)	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	認定日	備考
173	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、黒色土器、山茶碗、石器剥片	6	鈴鹿市弓削	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H19.2.27	H19.3.9	

※数量欄の数字のみはコンテナバットでの箱数

(6) 出土文化財の譲与

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	数量(コンテナバット箱数)	発見場所	遺跡名	発見の日付	保管場所
1	H18.4.11	津市教育委員会教育長	土師器・陶器・瓦	10	津市一身田上津部田	峯治城跡	H17.3.23	津市教育委員会
2	H18.4.11	津市教育委員会教育長	弥生土器・土師器	100	津市一身田豊野	山の脇遺跡	H17.7.1	津市教育委員会
3	H18.4.11	津市教育委員会教育長	土師器・陶磁器・瓦	1	津市大字半田宇朝日	笠取A遺跡	H17.7.29	津市教育委員会
4	H18.4.25	津市教育委員会教育長	須恵器・土師器等	30	津市高野尾町宇石切山・宇南出	石切山遺跡	H17.5.16	津市教育委員会
5	H18.4.25	津市教育委員会教育長	土師器・陶器	16	津市北河路町宇出口・木下	位田遺跡	H17.6.8	津市教育委員会
6	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器・灰釉陶器・山茶碗・瀬戸美濃陶器・常滑焼・古銭・金工品	1	桑名市多度町下野代字一丁物	下ノ代遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
7	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	山茶碗	1	桑名市多度町小山宇尾津平	天王平遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
8	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器・須恵器・常滑焼	1	桑名市多度町柚井宇關東	關東遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
9	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	常滑焼	1	桑名市多度町柚井宇一ノ谷	一ノ谷A遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
10	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	灰釉陶器・瀬戸美濃・須恵器	1	桑名市多度町柚井宇關東	關東遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
11	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	山茶碗	1	桑名市多度町柚井宇關東	宇賀C遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
12	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器・須恵器・山茶碗・常滑焼・瀬戸美濃陶器	1	桑名市多度町小山宇天王平	天王平遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
13	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	須恵器・瓦	1	桑名市多度町下野代	北小山廃寺	H17.9.26	桑名市教育委員会
14	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・白磁・常滑焼・瀬戸美濃陶器	1	桑名市多度町下野代	下ノ代遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
15	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器・須恵器・山茶碗・白磁・瀬戸美濃陶器	2	桑名市多度町柚井宇宇賀	宇賀A遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
16	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器	1	桑名市多度町小山宇尾津平	天王平遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
17	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器	1	桑名市多度町小山宇天王平	天王平遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
18	H18.4.24	桑名市教育委員会教育長	土師器	1	桑名市多度町小山宇天王平	天王平遺跡	H17.9.26	桑名市教育委員会
19	H18.6.27	鈴鹿市長	土師器・須恵器・陶器・瓦	整理箱8箱	鈴鹿市郡山町宇野口	西川遺跡	H17.10.19	鈴鹿市考古博物館
20	H18.6.27	鈴鹿市長	土師器・須恵器・磁器	整理箱1箱	鈴鹿市郡山町宇野口	郡山野遺跡	H17.10.19	鈴鹿市考古博物館
21	H18.6.22	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器・平瓦・丸瓦・灰釉陶器・山茶碗・山皿・常滑焼・天目茶碗・近世陶器・鉄製品・石器剥片	7	鈴鹿市平田本町一丁目	平田遺跡(6次)	H17.8.11	鈴鹿市考古博物館
22	H18.6.22	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器・平瓦・灰釉陶器・山茶碗・山皿・常滑焼・土鏝・石器剥片	4	鈴鹿市平田本町一丁目	平田遺跡(7次)	H17.8.11	鈴鹿市考古博物館
23	H18.6.22	鈴鹿市長	弥生土器・須恵器・石鏝・石器剥片・近世陶器・近世瓦	13	鈴鹿市長法寺町宇権現	長法寺遺跡(2次)	H17.8.25	鈴鹿市考古博物館
24	H18.7.5	朝日町教育委員会教育長	近世陶器・窯道具・窯壁・レンガ等	342	朝日町大字小向	正治寺跡・名谷A遺跡	H17.10.19	朝日町教育委員会
25	H18.7.14	鈴鹿市長	土師器・瓦	整理箱3箱	鈴鹿市大瀬町宇丸内	長者屋敷遺跡(第20次調査)	H17.11.12	鈴鹿市考古博物館
26	H18.7.14	鈴鹿市長	土師器・須恵器・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒平瓦・埴・刻印瓦・鬼瓦・山皿・近世陶器	15	鈴鹿市園分町宇堂跡	園史跡 伊勢国分寺跡(第31次調査)	H17.12.1	鈴鹿市考古博物館
27	H18.7.14	鈴鹿市長	土師器・須恵器	整理箱3箱	鈴鹿市高岡町宇寺山	寺山遺跡	H17.11.25	鈴鹿市考古博物館
28	H18.7.21	津市教育委員会教育長	土師器・須恵器・装身具・馬具・武器・刀装具等	24	津市一志町小山、八丈	ヒシノ谷・薬師谷古墳群	H17.12.8	津市教育委員会
29	H18.8.7	津市教育委員会教育長	縄文土器、土師器、須恵器、山茶碗ほか	15	津市安濃町連部宇ゆふけ	ゆふけ遺跡	H17.12.27	津市教育委員会
30	H18.8.7	津市教育委員会教育長	土師器・須恵器・陶器・瓦・銅製品	2	津市安濃町今徳	今徳城跡	H17.12.8	津市教育委員会
31	H18.8.3	津市教育委員会教育長	土師器・須恵器・陶磁器	2	津市安濃町宇杉ノ木	中跡部遺跡	H17.8.24	津市教育委員会
32	H18.8.3	津市教育委員会教育長	陶器	微量	津市大字垂水宇西浦	西浦遺跡	H17.8.24	津市教育委員会
33	H18.8.3	津市教育委員会教育長	土師器・陶磁器	少量	津市栗真小川町宇中沢	中沢遺跡	H17.8.24	津市教育委員会
34	H18.8.3	津市教育委員会教育長	弥生土器・須恵器・灰釉陶器	微量	津市一身田豊野	西田端遺跡	H17.8.24	津市教育委員会

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	数量(コンテナ パレット箱数)	発見場所	遺跡名	発見の日付	保管場所
35	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器	微量	津市高茶屋小森町 中山	中山遺跡	H17.8.24	津市教育委員会
36	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、陶磁器	微量	津市桜橋1丁目 171-1	川向遺跡	H17.8.24	津市教育委員会
37	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	陶器	4点	津市一身田町字裏 町	一身田寺内町	H17.8.24	津市教育委員会
38	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	弥生土器、須恵器、土 師器、陶器、石製品、 金属製品	204	津市大里川北町字 東谷	川北遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
39	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	弥生土器、石製品、須 恵器、陶器	19	津市河辺町字石立 他	長遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
40	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	弥生土器、須恵器、土 師器、陶器、石製品、 金属製品、木製品	356	津市大里川北町	川北遺跡(第2次)	H17.7.26	津市教育委員会
41	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	弥生土器、土師器、須 恵器、陶器	12	津市一身田上津部 田	上津部田城址(第2次)	H17.7.26	津市教育委員会
42	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、陶器	10	津市渋見町字城	渋見砦跡(第2次)	H17.7.26	津市教育委員会
43	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、陶器	3	津市一身田上津部 田字ルノ坪	上津部田城址(第3次)	H17.7.26	津市教育委員会
44	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、須恵器、陶 器、木製品	109	津市北河路町荒堀	蔵田遺跡・平田遺跡・ 位田東遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
45	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	弥生土器、土師器、陶 器	4点	津市大里窪田町字 石前 他	六大B遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
46	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、陶器	若干	津市大字垂水	垂水城跡(第1次)	H17.7.26	津市教育委員会
47	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、陶器、石製品	4	津市高茶屋小森町	四ノ野C遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
48	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器	1	津市大字野田字沢 中 他	平栄1号墳・平栄遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
49	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、須恵器、陶 器、瓦	1	津市一身田大古曾 字山ノ口	大古曾遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
50	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、陶器、瓦	2	津市大里窪田町	六大B遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
51	H18.8.3	津市教育委員会 教育長	土師器、陶器	若干	津市大字半田	笠取A遺跡	H17.7.26	津市教育委員会
52	H18.9.12	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須 恵器、瓦、山茶碗、近 世陶器	8	鈴鹿市国分町字境 谷	境谷遺跡	H18.1.11	鈴鹿市考古博物館
53	H18.9.12	鈴鹿市長	土師器	2	鈴鹿市国分町字中 尾山	中尾山遺跡	H18.1.11	鈴鹿市考古博物館
54	H18.9.8	津市教育委員会 教育長	近世陶器、銅銭(寛永 通宝)等	2	津市白山町城立	中山下経塚	H17.12.22	津市教育委員会
55	H18.9.21	鈴鹿市長	土師器、須恵器、常滑 焼、陶器、磁器、山茶 碗、棧瓦、灯明皿、天 目茶碗	1	鈴鹿市白子町字深 田	白子深田遺跡	H18.2.14	鈴鹿市考古博物館
56	H18.10.6	四日市市教育委員 会教育長	土師器、須恵器	2	四日市市東坂部町 字桜垣内	貝野遺跡	H17.7.20	四日市市教育委員会
57	H18.10.6	四日市市教育委員 会教育長	埴輪、土師器、灰釉陶 器、山茶碗、須恵器、 近世陶磁器、土鏝	3	四日市市石塚町	北中寺遺跡	H17.10.6	四日市市教育委員会
58	H18.10.6	四日市市教育委員 会教育長	土師器、須恵器、埴 輪、磁器、山茶碗、輸 入陶磁器	3	四日市市日永西5 丁目	古里遺跡	H17.11.7	四日市市教育委員会
59	H18.10.6	四日市市教育委員 会教育長	須恵器、土師器、陶 器、木製品、石製品等	236	四日市市大矢知町 字久留倍	久留倍遺跡	H18.3.30	四日市市教育委員会
60	H18.10.6	四日市市教育委員 会教育長	土師器、須恵器	4	四日市市東坂部町 字殿ノ堀	貝野遺跡	H17.5.6	四日市市教育委員会
61	H18.9.27	松阪市教育委員 会教育長	古式土師器、山茶碗 等	125	松阪市堀野新屋庄 町	赤部遺跡	H18.12.23	松阪市教育委員会
62	H18.10.26	松阪市教育委員 会教育長	門筒埴輪、朝顔形埴 輪	4点	松阪市上川町字五 良谷	高田2号墳	H18.2.1	松阪市教育委員会
63	H18.12.20	鈴鹿市長	須恵器	整理箱3箱	鈴鹿市石薬師町	稲荷山古墳	H18.5.8	鈴鹿市考古博物館
64	H19.1.11	鈴鹿市長	埴輪	整理箱4箱	鈴鹿市国府町字西 ノ野	西ノ野遺跡	H18.5.8	鈴鹿市考古博物館
65	H19.2.2	明和町長	弥生土器、土師器、 須恵器、灰釉陶器、 山茶碗ほか	96	明和町大字竹川字 馬渡	馬渡遺跡	H18.4.14	明和町
66	H19.2.2	明和町長	土師器、須恵器、灰 釉陶器	1	明和町大字竹川 字露越	露越遺跡	H18.6.26	明和町
67	H19.2.2	明和町長	土師器(皿、甕、 碗)、須恵器、陶器	4	明和町大字池村 字世古	世古D遺跡	H18.6.26	明和町
68	H19.2.2	明和町長	土師器(杯、鍋、甕、 碗、高杯)、須恵器 (甕、壺、杯)ほか	32	明和町大字有爾 中字平田	発シA遺跡	H18.4.14	明和町
69	H19.2.2	明和町長	土師器、須恵器ほか	7	明和町大字斎宮 字北野	斎宮北野A遺跡	H18.4.14	明和町
70	H19.2.2	明和町長	土師器、須恵器、灰 釉陶器、緑釉陶器、 黒色土器ほか	89	明和町大字斎宮 字北野	斎宮北野B遺跡	H18.4.14	明和町
71	H19.2.28	鈴鹿市長	弥生土器、須恵器、山 茶碗、陶器、磁器	1	鈴鹿市柳町字中 島、字汲田	中島遺跡	H18.6.23	鈴鹿市考古博物館
72	H19.2.28	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山 茶碗、山皿、鏡型	6	鈴鹿市国府町字 富士	富士遺跡	H18.6.21	鈴鹿市考古博物館
73	H19.3.23	鈴鹿市長	山茶碗	1	鈴鹿市弓削一丁目	平田遺跡	H18.8.11	鈴鹿市考古博物館
74	H19.3.23	鈴鹿市長	土師器、山皿、木製品	1	鈴鹿市西條町字東 澤	沢遺跡	H18.8.15	鈴鹿市考古博物館

※数量欄の数字のみはコンテナパレットでの箱数

3 国・県指定文化財の現状変更等（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

(1) 国指定文化財現状変更等

① 国指定史跡及び名勝等現状変更

（*印は県市の法定受託事務等による許可）

件名	所有者	申請者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
史跡 上野城跡	財務省ほか	伊賀市長	H18.6.6	H18.6.29	H19.3.23	整備に伴う発掘調査
			H18.11.15	H18.12.1*	H19.3.27	排水管の改修
史跡 旧崇廣堂	伊賀市	伊賀市長	H18.6.7	H18.7.21		中土塀の修理
			H19.2.28	H19.3.29		発掘調査
名勝 諸戸氏庭園	(財) 諸戸会	(財) 諸戸会理事長	H18.7.24	H18.9.5	H19.3.15	灯籠修理
			H18.10.25	H18.11.9	H19.3.15	
名勝 二見浦	伊勢市他	伊勢市長	H18.10.24	H18.11.17		駐車場整備
		三重県知事（伊勢農林水産商工環境事務所）	H19.1.17	H19.2.23		落石防止対策工事
史跡 久留倍官衙遺跡	国土交通省	四日市市教育委員会教育長	H18.11.14	H18.12.8		遺構盛土
		国土交通省	H19.1.17	H19.4.20		橋梁設置
史跡 天白遺跡	松阪市	松阪市教育委員会教育長	H18.11.27	H18.12.21	H19.3.26	埋め戻し

② 国指定史跡齋宮跡にかかる現状変更

申請内容	件数	備考
個人・民間企業などによる申請	21件	内、法定受託事務等による許可 1件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	5件	内、法定受託事務等による許可 1件
史跡環境整備及び維持管理等に伴う申請	3件	内、法定受託事務等による許可 2件
計画的発掘調査のための申請	2件	内、国庫補助金による計画発掘調査 2件
計	31件	

③ 国指定天然記念物現状変更

（*印は県等の法定受託事務等による許可）

件名	所有者 管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
御池沼沢植物 群落	四日市市	森林総合研究所関西支所 研究員	H18.3.22	H18.4.21		試料採取等
		四日市市教育委員会	H18.10.27	H18.11.30	H19.3.10	植生管理

田光のシデコ ブシ及び湿地 植物群落	田光区ほ か	菰野町教委	H17.12.27	H18.1.30	H18.12.25	環境整備等	
			H18.12.25	H19.2.1		植生管理等	
			H19.3.16	H19.3.16*		工作物の設置	
九木神社樹叢	九木神社	同左	H18.12.11	H18.12.20* (尾鷲市許可)		危険防止のた めの伐採	
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	熊野市	七里御浜鯉 のぼりの会	H18.3.27	H18.4.4* (熊野市許可)	H18.6.23	工作物の設置	
		熊野市長	H18.7.15	H18.7.24* (熊野市許可)	H18.9.26	花火行事のた めの工作物の 設置	
		七里御浜鯉 のぼりの会	H19.3.20	H19.3.26* (熊野市許可)		工作物の設置	
オオサンショ ウウオ		水資源機構 川上ダム建 設所長	H17.4.25	H17.6.17	H18.6.30	生息状況調査 等	
		水資源機構 川上ダム建 設所長	H18.4.13	H18.6.16		生息状況調査 等	
		三重自然誌 の会	H18.6.1	H18.6.9* (津市許可)			生息状況調査
				H18.6.9* (伊賀市許可)			
				H18.6.23* (名張市許可)			
		国土交通省 近畿地方整 備局木津川 上流河川事 務所長	H18.6.20	H18.7.27 (同意日)	H19.2.3	生息状況調査	
		三重県知事 (伊賀建設 事務所)	H18.9.20	H18.12.21	H19.1.11	工事に伴う一 時捕獲・移動	
名張市長	H18.10.18	H19.2.23		工事に伴う一 時捕獲・移動			
国土交通省 近畿地方整 備局木津川 上流河川事 務所長	H19.3.9			生息状況調査			
ネコギギ		三重県知事 (桑名建設 部)	H17.10.6	H17.11.28	H18.6.23	工事に伴う一 時捕獲・移動	
		三重県知事 (伊勢建設 部)	H17.11.21	H18.3.28	H19.3.31	工事に伴う一 時捕獲・移動	
		三重県知事 (伊勢建設 部)	H18.3.24	H18.6.1		工事に伴う一 時捕獲・移動	
		いなべ市教 育委員会	H18.4.25	H18.5.19		捕獲等(保護 増殖事業)	

自然観察指導員三重連絡会	H18.4.24	H18.5.1	H18.5.24	生息状況調査
三重大学生物資源学部教授	H18.5.8	H18.5.18* (津市許可)		生息状況調査
		H18.6.29		生息状況調査 (DNA採取)
伊勢農林水産商工環境事務所長	H18.6.14	H18.7.27	H18.10.20	生息状況調査 (標識再捕)
三重県教育委員会	H18.6.23	H18.7.21		生息状況調査等
三重県知事 (松阪建設事務所)	H18.4.27	H18.5.1* (松阪市許可)		工事に伴う生息状況調査
中日本高速道路株式会社松阪工事事務所長	H18.7.13	H18.7.21*	H18.10.26	工事に伴う生息状況調査
三重県知事 (伊勢建設事務所)	H18.7.4	H18.7.10*		工事に伴う生息状況調査
三重県知事 (伊勢建設事務所)	H18.8.11	H18.8.11*		工事に伴う生息状況調査
三重県知事 (松阪建設事務所)	H18.8.11	H18.9.15	H19.1.5	工事に伴う一時捕獲及び移動
三重県知事 (松阪建設事務所)	H18.8.17	H18.8.21* (松阪市許可)		河川水辺の国勢調査
いなべ市長	H18.8.23	H18.8.28		工事に伴う一時捕獲・保護飼育
三重県知事 (津農林水産商工環境事務所)	H18.9.15	H18.10.13	H18.10.20	工事に伴う一時捕獲・移動
三重県知事 (伊勢建設事務所)	H18.11.6	H19.1.11	H19.3.19	工事に伴う一時捕獲・移動
三重県知事 (伊勢建設事務所)	H18.11.24	H18.12.21		工事に伴う一時捕獲・移動
三重県知事 (桑名建設事務所)	H18.11.28	H18.12.21	H19.3.31	工事に伴う一時捕獲・移動

④ 国指定天然記念物滅失・き損届

件名	届出者	届出日	滅失日	滅失内容
カモシカ	松阪市教委	H18.5.15	H18.5.2	観光客が幼獣を保護したが、保護してから時間が経っていたため放獣を断念。その後、獣医宅に搬送したが死亡。
	大紀町教委	H18.8.15	H18.8.上旬	地域住民が林道脇で死亡しているカモシカを発見。
	鈴鹿市教委	H19.2.28	H19.2.27	小学生が、川の中で衰弱しているカモシカを発見。その後、教員が確認したが、カモシカは既に死亡していた。
オオサンショウウオ	日本サンショウウオセンター理事長	H18.4.18	H18.3.29	飼育個体（野外由来）の死亡
	名張市教委	H18.9.1	H18.7.25	保護した個体の死亡
	水資源機構川上ダム建設所長	H18.10.12	H17.6.20 ほか	保護池で飼育中の個体（野外由来）の死亡
	日本サンショウウオセンター理事長	H19.1.15	H19.1.14	飼育個体（野外由来）3個体の死亡

⑤ 重要文化財修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
木造如来座像1躯	新大仏寺	H18.4.27	H18.5.30～H18.5.31・ H18.6.16	近時補修部及び一部漆箔浮き上がり等の手当

⑥ 重要文化財所在場所変更届（元の所在場所に復する場合）

件名	所有者	変更所在場所	届出日	変更期間	変更理由
更科紀行 芭蕉自筆稿本 一卷 庚子（享保五年）春 二月尚白識語	伊賀市長	芭蕉記念館	H18.8.10	H18.10.6 ～ H18.10.13	特別展「俳諧から俳句の時代へ」展に展示のため
角屋家貿易関係資料のうち「大湊角屋家旗」1旒	神宮	(株)松鶴堂	H19.1.14	H19.2.5～ H19.4.30	収納箱製作のため仕様の検討のため

⑦ 重要文化財無償貸付

件名	所有者	申請者	届出日	承認日	貸付期間	貸付目的
三重県縄生廃寺塔心礎納置品一括	国	朝日町歴史博物館長	H18.2.21	H18.3.27	H18.4.1 ～ H19.3.31	朝日町歴史博物館における常設展に出品展示するため

⑧ 重要文化財（県内所在）公開許可申請（県内施設による）（県の法定受託事務等による許可）

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	公開期間	公開理由
本居宣長稿本類 並関係資料の内 『日本書紀』2冊 『先代旧事本紀』 3冊	松阪市	朝日町 歴史博 物館長	H18.10.12	H18.10.19	H18.11.2～ H18.12.3	平成18年度企画展 「郷土の人 橋守 部」に出展のため
紙本墨書近長谷 寺資材帳	近長谷寺	桑名市 博物館 長	H18.7.5	H18.7.19	H18.11.22 ～ H18.11.26	展覧会「伊勢のみち ／桑名のみち」に出 展のため

⑨ 重要文化財公開届出（公開承認施設）

件名	所有者	届出者	届出日	公開期間	公開理由
紙本墨書近長谷寺資 財帳 1巻	近長谷寺	齋宮歴史 博物館長	H18.12.7	H18.10.7 ～ H18.10.29	平成18年度特別展「齋王の おひざもと一齋宮をめぐる 地域事情」に出展のため
度会市系図 1巻	神宮			H18.10.7 ～ H18.11.23	
伊勢国朝熊山経ヶ峯 経塚出土品 2点	金剛證寺				

⑩ 重要文化財公開許可申請（県内施設、国許可による）

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	公開期間	公開理由
五街道其外分間 延絵図並見取絵 図の内 東海道 其外分間絵図第 8、9巻（宮～亀 山の間）	独立行政法 人 国立博 物館	桑名市博 物館長	H18.7.5	H18.8.3	H18.10.28 ～ H18.11.26	特別企画展「伊勢の みち／桑名のみち」 に出展のため
五街道其外分間 延絵図並見取絵 図の内 佐屋路分 間延絵図 1巻						
五街道其外分間 延絵図並見取絵 図の内 伊勢路 見取絵図3巻の うち第2巻						
太刀 無銘 伝国俊 一口	合資会社 苗秀社	松阪市教 育委員会 教育長	H18.8.2		H18.8.27 ～ H18.10.1	特別展「松阪城物 語」に出展のため

⑪ 国指定文化財の勧告・承認出品

件名	所有管理者	出品施設	出品期間	出品区分
絹本著色聖徳太子勝鬘経講讃図	西来寺	独立行政法人国 立博物館	H18.4.1～ H19.3.31	出品勧告
絹本著色聖徳太子像	四天王寺	大阪市立美術館	H18.4.1～	出品承認

絹本著色藤堂高虎像 附 同夫人像 一幅		独立行政法人国 立博物館	H19.3.31	出品勧告
伊勢国朝熊山経ヶ峯経塚出土品 の内 (銅経筒二口・銅鏡二面分)	金剛証寺	独立行政法人国 立博物館	H18.4.1 ~ H19.3.31	出品勧告
紙本墨書勸進状 附 絹本著色忍性上人像/額 田部実澄像 二幅	大福田寺	独立行政法人国 立博物館	H18.4.1 ~ H19.3.31	出品承認
絹本著色釈迦八相成道図				出品勧告

⑫ 登録有形文化財現状変更届

件名	所有者	届出者	届出日	変更内容	変更理由
皇學館大学記念館 1棟	学校法人皇學館	学校法人皇學館理事長	H19.1.30	移築改修し、耐震補強等を行う。	教室として活用するため

⑬ 登録有形文化財所有者変更届

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
旧東洋紡株式会社富田工場原綿倉庫 1棟	ユーエフジェイ信託銀行株式会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	H17.10.3	H18.5.19	H18.6.23	会社合併による

(2) 県指定文化財現状変更等

① 県指定史跡及び名勝等現状変更

件名	所有管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
史跡 西蓮寺の供養塔	西蓮寺	西蓮寺代表役員	H18.4.17	H18.4.27	H18.6.16	基壇整備
史跡 七里の渡	国土交通省・桑名市	桑名市長	H18.5.25	H18.6.8	H18.10.16	転落防止柵の設置
史跡 有節萬古窯跡	朝日町小向地区丘陵地土地地区画整理組合	朝日町小向地区丘陵地土地地区画整理組合理事長	H18.6.20	H18.7.3	H18.11.6	階段設置
史跡 有節萬古窯跡	朝日町小向地区丘陵地土地地区画整理組合	朝日町小向地区丘陵地土地地区画整理組合理事長	H18.10.6	H18.10.12	H18.11.6	木竹伐採
史跡 津城跡	津市	津市長	H18.10.4	H18.10.4	H19.4.3	屋根修理
史跡 琴平山古墳	(個人)	名張市教育委員会教育長	H18.10.20	H18.10.25	H19.4.2	発掘調査
史跡 田丸城跡	玉城町	玉城町商工会	H18.11.24	H18.12.1	H19.1.24	工作物の設置

史跡 七里の渡	国土交通 省・桑名市	桑名市長	H18.12.6	H18.12.14	H19.4.5	旧堤防撤去および階段設置
史跡 大河内城跡	(個人)	松阪市教育 委員会教育 長		H19.2.2* (松阪市許可)	H19.3.30	説明板の除却・ 設置
史跡 伊勢寺跡	(個人)	松阪市教育 委員会教育 長		H19.2.2* (松阪市許可)	H19.3.30	説明板の除却・ 設置
史跡 松阪城跡	松阪市	松阪市長		H19.3.6* (松阪市許可)	H19.3.30	標識の設置

② 県指定天然記念物現状変更

件名	所有管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
篠立の風穴	篠立区	調査グループ代表者	H18.4.5	H18.4.11		環境調査等
多度のイヌナシ自生地	(個人)	岐阜大学応用生物科学部教授	H18.4.28	H18.5.17		試料採取等
		桑名市教育委員会教育長	H18.10.20	H18.10.23		環境整備
地蔵大マツ	西玉垣町自治会	同左	H18.12.4	H18.12.12	H19.1.12	薬剤注入等
川俣神社のステダジイ	川俣神社	同左	H19.1.22	H19.2.1	H19.3.8	樹勢回復事業
滝谷・檜原の川岸岩壁植物群落	大台町他	京都大学大学院理学研究科研修員	H18.5.25	H18.6.9		群落調査
オオダイガラサンショウウオ	—	三重自然誌の会	H18.8.1	H18.8.10		標本採取等
長太の大クス	須伎神社	須木神社	H19.2.5	H19.2.13	H19.3.20	樹勢回復事業
和具大島暖地性砂防植物群落	八雲神社	志摩野生動物研究会	H19.3.7	H19.3.15		環境整備

③ 県指定史跡・名勝天然記念物き損届

件名	届出者	届出日	き損日	き損内容
史跡神戸城跡	鈴鹿市長	H18.7.13	H18.7.10 頃	石垣への油性マーカーによる落書き
丸山庫蔵寺のイスノキ樹叢	丸山庫蔵寺	H18.8.2	H18.2.19	所有者による伐採

④ 県指定有形民俗文化財き損届

件名	届出者	届出日	き損日	き損内容
大入道山車	中納屋町大入道保存会	H18.12.11	H18.11.12	地域行事に参加巡航中、信号機に頭部をぶつけ、凹みが生じた

⑤ 県指定有形民俗文化財の修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
大入道山車	中納屋町大入道保存会	(完了届) H18.7.20	H17.7.20 ~H18.7.2	胴体部骨組の復元新調

⑥ 県指定文有形文化財修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
賓日館	伊勢市	H18.12.28	H18.5.2	西棟2階便所周辺の電気配線の劣化による改修
賓日館	伊勢市	H19.1.5	H17.11.1 ~ H18.3.31	経年劣化により剥離・腐食した部分10ヵ所の改修
賓日館	伊勢市	H18.12.28	H18.8.7 ~ H18.3.31	玄関等・西棟・大広間棟の電気配線の雨漏り対策
賓日館	伊勢市	H19.1.5	H19.2 ~ H19.3.15	屋根瓦の部分取替え、ずれの補修等の雨漏り対策
旧小津家住宅	松阪市	H19.10.3	H18.10.5 ~ H19.2.27	料理場付近の板壁の経年劣化による隙間を改修

⑦ 県指定有形文化財所有者変更

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
賓日館6棟 附 棟札4枚	二見町	伊勢市	H17.11.1	H17.11.1	H17.11.2	市町村合併のため
紙本墨書射和寺文書 二巻	(個人)	(個人)	H18.1.2	H18.7.10	H18.7.11	相続のため
刀 一口 附 革巻半太刀拵 脇差 一口 附 黒漆変り塗拵 薙刀 一口 附 黒漆塗拵	(個人)	(個人)	H18.1.2	H18.7.10	H18.7.11	相続のため

⑧ 県指定文化財所在場所の変更（元の所在場所に復する場合）

件名	所有管理者	変更場所	届出日	変更期間	変更理由
一色町の木造能面4 1面 附 能装束5 4点、小道具22点、 鏡板7点のうち、20 点(能面10点・能装 束5点・鏡板5点)	一色町能楽 保存会	石川県立 歴史博物 館	H18.6.5	H18.7.14 ~ H18.10.3	「伊勢神宮の神宝」展 に出陳するため
紙本墨書射和寺文書 2巻	個人	斎宮歴史 博物館	H18.7.20	H18.7.25 ~ H18.9.29	埋蔵文化財展「北畠氏 とその時代」展に出陳 するため
紙本墨書安養寺文書 1通	安養寺	斎宮歴史 博物館	H18.2.16	H18.7.25 ~ H18.9.29	埋蔵文化財展「北畠氏 とその時代」展に出陳 するため

近世初期上方子供絵本 附 実用書・瓦版・紙袋・反故紙・絵巻写	射和町自治会	国立科学博物館本館	H18.8.15	H18.11.30	「化け物文化誌展」展示資料として出展するため
松浦武四郎関係資料 844点のうち11点	松阪市	千葉市美術館	H18.11.15	H19.1.5～ H19.3.9	「鈴木鷺湖 幕末に活躍した郷土の画家」展に出陳するため
松浦武四郎関係資料 844点のうち7点	松阪市	北九州市立いのちのたび博物館 北海道立近代美術館	H18.9.15	H18.9.15～ H19.2頃	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構主催「アイヌ文様の美」展に出陳するため
大入道山車	中納屋町大入道保存会	萬屋仁兵衛工房	H17.6.22	17年度～ H18.7.2	修理のため
釈迦誕生仏立像 一 軀 地藏菩薩座像 一 軀	観音寺	名古屋市博物館	H18.9.26	H18.10.14～ H18.12.17	「比叡山と東海の至宝」展に出陳するため
木造神像男神座像・女神座像 2軀	河田区	斎宮歴史博物館	H19.2.2	H19.2.16～ H19.2.24	虫害の予防目的に文化財薫蒸を施すため

⑨ 県指定文化財所在場所の変更（長期）

件名	所有管理者	変更場所	届出日	変更日	変更理由
近世初期上方子供絵本 附 実用書・瓦版・紙袋・反故紙・絵巻写	射和町自治会	松阪市射和町365-1	H18.8.1	H18.8.2	防犯・防火に対して適切な処置をとるため。
朝鮮通信使行列図染絵胴掛 1枚	白子西町自治会	鈴鹿庁舎西館2階郷土資料室	H19.1.22	H19.2.22	鈴鹿新庁舎に新設された郷土資料室に移し、文化財保護環境条件の向上を図る。

⑩ 県指定有形文化財公開届（県指定文化財公開承認施設による）

件名	所有管理者	公開場所	届出日	公開期間	公開内容
木造神像男神座像・女神座像	霊神社・河田地区	斎宮歴史博物館	H18.12.7	H18.10.7～ H18.11.23	平成18年度特別展「斎王のおひざもと一斎宮をめぐる地域事情」に出陳

⑪ 県指定文化財の撮影掲載許可等

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解 三重県水産図説	三重県	志摩市教育委員会教育長	H18.6.8	H18.6.23	企画展「海に生きる志摩の漁（すなどり）」展示用パネル等に掲載のため

		(有)ケー・エヌ・プランニング	H18.7.20	H18.7.24	㈱ベネッセコーポレーション出版『社会歴史図鑑「おもしろ歴史たんでい団」第4巻「仕事」』に掲載のため
		徳島県立博物館長	H18.7.19	H18.7.25	企画展「海人の見た世界一知られざる伝統文化の発見！」展示パネル、展示図録に掲載のため
三重県水産図解 三重県水産図説	三重県	あいち知多農業協同組合	H18.11.29	H18.12.5	図説JA発行の月刊広報誌「あぐりっ子」に掲載のため
		㈱テレビ朝日サービス	H19.1.30	H19.2.2	平成16年放送「食彩の王国経編」のマルチューズを目的とした中でのBS放送
		㈱ミツカングループ本社ミツカン水の文化センター	H19.2.14	H19.2.20	会社貢献誌『水の文化』25号に掲載するため

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の受賞

① 地域文化功労者文部科学大臣表彰

被表彰者 岡本 勝氏 (愛知教育大学名誉教授、中部大学教授)

② 教育功労者表彰

被表彰者 岡田 照子氏 (三重県文化財保護審議会副会長、岐阜女子大学名誉教授)

(2) 三重県文化財講習会 (第24回)

・目的 文化財保護に携わっている三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財所有者、管理者、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する基礎的知識と技能等の研修を行い、もって資質の向上を図るとともに、文化財の保護と活用の強化に資する。

・主催 三重県教育委員会
三重県指定文化財等所有者連絡協議会

・期 日 平成19年2月7日 (水)

・場 所 三重県総合文化センター内 生涯学習センター 2F 視聴覚室

・参加者 142名

・内 容 事業説明「活かそう地域文化提案事業」について

宇河 雅之 (三重県教育委員会生涯学習分野文化財保護室主事)

① 専修寺御影堂の修理工事について

大城 哲也氏 (財団法人文化財建造物保存技術協会重要文化財
専修寺御影堂設計監理事務所所長)

② 古建築に学ぶ耐震構法

花里 利一氏 (三重大学教授)

(3) 第48回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

- ・趣 旨 近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的とする。
- ・主 催 三重県教育委員会
第48回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会
- ・後 援 文化庁・三重県
- ・協 賛 財団法人地域創造・全国民俗芸能保存振興市町村連盟
- ・事業費 7,380千円(国50% 1,590千円、県50% 1,590千円、地域創造4,000千円、全民連200千円)
- ・期 日 平成18年11月26日(日)(正午～16:26)
- ・会 場 三重県総合文化センター 文化会館中ホール(三重県津市)
- ・出演目 香良洲町の宮踊(三重県) 法花寺万歳(兵庫県) しばんば踊(富山県)
大窪の笠踊り(和歌山県) 上野町餅つき踊り(石川県) 瓜生六斎念仏(福井県)
佐野踊り(大阪府) やすらい花(京都府) 円城寺の芭蕉踊(岐阜県)
銭太鼓(愛知県) 最上踊(岐阜県) 神波多神社神楽(奈良県)
- ・交流イベント出演 子ども唐人・唐人踊りを継ぐ会(三重県)

(4) 文化財保護強調週間行事(平成18年11月1日～7日)

		県	市	町	合計
実施自治体件数		1	7	4	12
実施行事件数	伝統芸能発表会等		2		2
	博物館等での文化財の展示	1	8	4	13
	文化財保護功労者の顕彰等		1		1
	その他		1		1

(5) 文化財防火デー(平成19年1月26日)関連行事実施状況

県		市 町								
		市			町			小 計		
実施箇所数	実施件数	実施市数	実施箇所数	実施件数	実施町数	実施箇所数	実施件数	実施村数	実施箇所数	実施件数
2	5	13	144	275	9	26	39	22	170	314

三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成19年3月31日現在

種 別		国	県	計
重要文化財 有形文化財	建造物	21	41	62
	絵画	19	32	51
	彫刻	63	105	168
	工芸品	17	52	69
	書跡・典籍・古文書	38	53	91
	考古資料	9	27	36
	歴史資料	3	2	5
無形文化財	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
民俗文化財	無形民俗文化財	8	34	42
	有形民俗文化財	1	24	25
記念物	特別史跡	1	—	1
	特別天然記念物	2	—	2
	特別名勝及び天然記念物	1	—	1
	史跡	33	69	102
	史跡及び名勝	0	2	2
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	13	4	17
	天然記念物	18	79	97
天然記念物及び名勝	1	1	2	
小 計		256	536	792
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	—	1
文化財の保存技術		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		14	8	22
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録文化財		58	—	58
合 計		329	544	873

（国の古文書には国宝3、考古資料には国宝1を含む）

三重県の文化財保護 —平成18年度—

・発行／2007.8

・編集／三重県教育委員会

・印刷／正興印刷株式会社



古紙配合率は100%、白色度82%

